

茗溪



秋

2023

令和5年

no.1118

目次

- グラビア …… 01 ~ 02
- 令和5年度 地域組織表 …… 03
- 筑波キャンパスでのキャリア支援レポート '23 …… 04 ~ 05
- 第5回教職2次試験対策研修会 …… 06 ~ 07
- Peer Garden (茗溪アルバム) …… 08 ~ 09
- 年会費と学生支援 …… 10 ~ 13
- 知の提供・誌上講座「光化学と色」 …… 14 ~ 15
- 元素講話こぼれ話 第2話 …… 16
- 茗溪フェロー協力者ご芳名 …… 17
- 医薬・関連業界交流会 …… 18 ~ 19
- 茗溪・東西南北 …… 20 ~ 21
- 追悼録 …… 22
- 桐の葉のつどい …… 22
- 筑波大学は今 …… 23
- 茗溪学園だより …… 24
- 予告 …… 25
- 令和6・7年度 代議員選挙公示 …… 26
- 表紙のことば …… 26 ■ 編集後記 …… 26





桜美林大学

J. F. Oberlin University

リベラルアーツ学群 / 健康福祉学群
ビジネスマネジメント学群 / 芸術文化学群
グローバル・コミュニケーション学群
航空・マネジメント学群
教育探求科学群 (2023年4月開設予定)
※設置準備構想中

桜美林学園 理事長・小池 一夫
学長 畑山 浩昭
入学部相談役 川田 孝一 (昭39教大総農)

【お問合せ先】

〒194-0294 東京都町田市常盤町 3758
桜美林大学入学部インフォメーションセンター
Tel.042-797-1583 E-mail:info-ctr@obirin.ac.jp



地域と歩み、次代を創る。

SEKISHO

SEKISHO GROUP

当社は「財団法人関彰育英会」を通して、筑波大学大学院博士後期課程の院生に、研究支援として奨学金の支給を行っております。



関彰商事株式会社

代表取締役社長 関 正樹

つくば本社 / 茨城県つくば市二の宮 1-23-6 TEL 029-860-5151
茗溪会担当: 取締役 常務執行役員 岡本 俊一
(昭和56年 第一学群 社会学類 卒業)

<https://www.sekisho.co.jp/>



力と自信がつく教育で 「考え、行動する人材」を育成します。



- 工学部
 - 機械工学科 機械工学コース
 - 機械工学科 航空宇宙学コース
 - 電気電子情報工学科
 - 応用化学科
- 創造工学部
 - 自動車システム開発工学科
 - ロボット・メカトロニクス学科
 - ホームエレクトロニクス開発学科
- 応用バイオ科学部
 - 応用バイオ科学科 応用バイオコース
 - 応用バイオ科学科 生命科学コース
- 情報学部
 - 情報工学科
 - 情報ネットワーク・コミュニケーション学科
 - 情報メディア学科
- 健康医療科学部
 - 看護学科(看護師・保健師養成課程)
 - 管理栄養学科(管理栄養士養成課程)
 - 臨床工学科(臨床工学技士養成課程)

教職センター 大畑多津雄 (S52 理) (神奈川茗溪会会 長)
I R 室 望月 正大 (S51 理) (同 副会長)
公務員対策室 林 忠 (S58第1自)



神奈川工科大学

KANAGAWA INSTITUTE OF TECHNOLOGY

〒243-0292 神奈川県厚木市下荻野1030
TEL.046-291-3002 URL:<https://www.kait.jp/>

明るく楽しい茗溪会



- ④ 会長就任挨拶 (7/29 徳島茗溪会)
- ⑤ 総会 (8/19 群馬支部)
- ⑥ 受付 (7/22 神奈川茗溪会)
- ⑦ 受付 (8/19 群馬支部)
- ⑧ 総会 (7/1 三重茗溪会)
- ⑨ 乾杯 (7/1 三重茗溪会)
- ⑩ 乾杯 (7/29 徳島茗溪会)
- ⑪ 乾杯 (7/22 神奈川茗溪会)



⑫宣揚歌 (7/22 神奈川茗溪会)
 ⑬総会 (7/2 茗溪会千葉支部)
 ⑭歓談 (7/2 福島茗溪会)

⑮若手の会員 (9/02 富山支部)
 ⑯若手の会員 (8/6 愛媛茗溪会)
 ⑰二次会 (7/29 徳島茗溪会)

⑱宣揚歌 (7/2 福島茗溪会)
 ⑲宣揚歌 (7/22 神奈川茗溪会)

令和5年度 茗 溪 会 地 域 組 織 表

	代表者 (卒年科)	事務局担当者		代表者 (卒年科)	事務局担当者		代表者 (卒年科)	事務局担当者
筑波大	伊藤純郎 (50筑一人文)	野崎芳恵 (12築二日)	山梨	小林智 (63筑修教)	佐藤朗 (12筑三情報) 井上裕紀 (03筑教)	鳥取	小倉健一 (53筑体)	美多賀鼻 孝裕 (10筑体) 出雲 大輔 (24筑体)
名誉教授の会	大嶋建一	新井達郎 (56筑博化)	長野	石川裕之 (61筑一人文)	卯之原 勇輝 (22筑体) 新宮 奈々 (28筑人文) 速渡 賀大 (27筑人文)	島根	境 英俊 (59筑修体)	西村 覚 (01筑修体) 塚田 真也 (21筑博数理) 清水 悠 (17筑体)
北海道	川口 淳 (58筑修教)	尾形 友秀 (05筑体) 田畑 良樹 (14筑体)	新潟	中島 郁雄 (53筑体)	山下 幸治 (08筑芸)	岡山	長尾 隆史 (55筑体)	長尾 隆史 (55筑体) 延原 良明 (57筑体)
青森	前田 济 (59筑一自)	工藤 誠司 (09筑体) 五十嵐 喜代敬 (09筑体)	富山	中村 謙作 (62筑一自)	寺崎 啓子 (60筑一社) 安村 良紀 (18筑三工基) 橘 和徳 (23筑院体) 箱江 典子 (23筑博数)	広島	大辻 明 (47教大体)	若井 研治 (09筑体) 山下 勝也 (58筑体)
岩手	高橋 緑 (60筑二人間)	清水 茂幸 (59筑体) 上濱 龍也 (62筑体) 澤村 省逸 (62筑体)	石川	田井 友章 (59筑体)	神田 康 (15筑体) 横野 祐太郎 (26筑体) 近岡 岳則 (17筑二人間)	山口	吉本 晃 (54筑二人間)	藤本 秀夫 (15筑修体) 原田 正太郎 (27筑体)
宮城	土生 善弘 (62筑体)	山崎 健二 (02筑体)	福井	牧野 保彦 (63筑一自)	田崎 忍 (10筑体) 吉川 晶子 (63筑芸)	徳島	藤川 美和 (63筑一人文)	森 誠一 (03筑二農) 北條 伸吾 (62筑一人文) 藤川 健司 (21筑院体)
秋田	筒井 勝 (62筑体)	戸嶋 幸子 (14筑体)	静岡	望月 保宏 (61筑一人文)	山口 恵 (61筑一人文) 中村 心之輔 (23筑修人間)	香川	土井 真也 (63筑体)	迫田 真由美 (05筑二日日)
山形	津田 浩 (58筑一自)	鳥羽 聡 (09筑体) 羽角 哲弘 (04筑体) 鳥羽 聡 (09筑体)	愛知	竹下 裕隆 (56筑一社)	丹後 茂 (63筑体) 大森 北寛 (09筑体) 折笠 安秀 (08筑体)	愛媛	山下 尚位 (59筑芸)	川野 正光 (02筑芸) 山本 隆祥 (07筑体) 友近 拓也 (13筑体)
福島	伊豆 幸男 (55筑一自)	渡邊 優輔 (21筑修教) 大槻 文彦 (12筑修理工) 渡邊 幹男 (17筑修教)	岐阜	鈴木 健 (59筑二生)	蒲 尚胤 (02筑一人文) 水野 裕子 (01筑二人間)	高知	楠瀬 誠悟 (61筑一自)	手林 慎一 (10筑博農) 山本 英作 (03筑二比) 下坂 速人 (53筑体)
茨城	海老澤 浩一 (63筑一人文)	太田 泰助 (11筑修芸) 花沢 典行 (20筑二人間) 竹内 智則 (10筑修教)	三重	岡村 芳成 (63筑一自)	若宮 一哉 (06筑一自) 加藤 英紀 (15筑一自) 山北 正也 (03筑一人文)	福岡	稲富 勉 (61筑体)	片山 英和 (10筑体)
栃木	前橋 均 (62筑二比)	今井 和彦 (06筑一自) 飯村 裕樹 (24筑修教)	滋賀	脇坂 高峰 (56筑体)	長瀬 慎吾 (20筑体) 桂本 尚樹 (62筑体) 藤江 隆史 (08筑体)	佐賀	松雪 誉 (61筑体)	山田 和人 (05筑体)
群馬	小林 智宏 (61筑二人) 丸橋 覚 (02筑修教)	今井 貴子 (63筑体) 飯塚 勇一 (01筑一人文) 木村 拓哉 (21筑院数理) 鈴木 幸英 (26筑院数理)	京都	三橋 利彦 (58筑体)	遠山 秀史 (61筑一自) 藤原 秀規 (04筑体) 大槻 寛史 (03筑体) 藤野 貴之 (06筑体)	長崎	岩橋 英夫 (63筑体)	井出 英介 (15筑体) 大水 征史 (17筑体)
埼玉	春山 賢男 (55筑一自)	青木 勇藤 (55筑一人文) 大川 勝 (59筑体) 山本 健敬 (59筑一自)	大阪	戸井田 克己 (59筑二比)	北邨 淳 (19筑体)	熊本	田畑 淳一 (62筑二)	川崎 剛 (05筑体) 橋本 徹也 (12筑体) 渡邊 幸樹 (15筑体)
千葉	百瀬 明宏 (55筑一人文)	大久保 利宏 (52教大健) 峯 浩之 (14筑一自) 田口 亜紀子 (08筑一自)	兵庫	岸部 健司 (63筑体)	新井 友彦 (01筑体) 長井 浩一 (05筑体)	大分	野尻 明敬 (59筑二人間)	押田 武 (11筑体)
東京	高橋 基之 (53筑一自)	花上 克宏 (54筑一自) 栗原 茂夫 (55筑二比文) 浅井 一郎 (55筑一人文)	奈良	谷垣 康 (53筑一人文)	井上 徳之 (58筑一自) 岩佐 泰造 (13筑体) 栗本 善弘 (10筑体)	宮崎	川井田 和人 (55筑体)	児玉 洋一 (02筑三社工) 川内 健二 (16筑二比) 森山 あゆみ (20筑二資源)
神奈川	加藤 充洋 (56筑一社)	大石 進 (56筑体) 添野 龍雄 (57筑二農) 鈴木 孝幸 (09筑博工)	和歌山	川久保 尚志 (62筑二生)	川口 勝也 (01筑体) 玉出 慎 (12筑体) 前 了斗 (26筑修体)	鹿児島	黒木 哲二 (62筑二比文)	前 和樹 (11筑一人文)
						沖縄	前門 晃 (58筑博理)	三輪 一義 (02筑修体) 古堅 小百合 (12筑修理) 漢那 洋子 (63筑一自)

筑波キャンパスでの キャリア支援レポート'23

茗溪会筑波事務所

瀧下 芳彦(S56年基礎工卒)

筑波事務所は、筑波キャンパスの中央部にある学生会館内にあり、学生と一番近いところで活動しています。今回、茗溪会が主催した2つのキャリア支援企画「第9回OB・OGキャリアカフェ」と「対面式の面接練習」についての現場レポートをまとめました。

第9回OB・OG

キャリアカフェ

2023年6月9日(金)～10日(土)開催

●企画概要

筑波大学および大学院の卒業生と現役学生との交流の機会、および大学の先輩から就職活動やキャリア、学生生活のアドバイスなど、本音で話を聞ける機会として、これまで学生から高い満足度を得ています。

主催：一般社団法人 茗溪会 茗溪・筑波産業人倶楽部運営委員会
共催：筑波大学 ヒューマンエンパワメント推進局
参加対象学生：筑波大学の全学生、大学院生。学年は不問。
参加対象社会人：筑波大学および大学院の卒業生。

2019年・第1回目、2回目は、大学院(学生会館)で実施。
2020～22年・第3回目～8回目

は、コロナ禍でオンラインで実施。
&オンラインのハイブリッド開催。

2023年・第9回目の今回は、対面

●今回、特に私が注力したこと

・コロナ禍も今年で4年目に入りましたが、今年に入り感染対策が緩和方向に向かい、学内でも新年度から対面授業が多くなってきました。それを受けて、共催先であるヒューマンエンパワメント推進局(旧・就職課)と協議をし、今回は、初日(6/9)はキャンパス内での対面開催、二日目(6/10)はオンライン(Zoom)開催というハイブリッド開催を実施することとしました。

・対面での開催に当たっては、「感染防止対策として、できれば会場の収容可能人数に対して2倍以上の余裕があることが望ましい」という大学側からの助言を受けて、学生会館ホール(収容人数500人)をメイン会場とし、できるだけ各ブース間距離を確保できるように配慮しました。しかしながら、これだけの大きな対面イベントは、3年8カ月ぶりの開催であり、会場のレイアウトづくり・備品の用意、OB・OGや参加学生の受付体制などオンラインイベント開催に慣れ切った私たちにとって、戸惑うことが多かったです。

●今回の結果

・初日(6/9)は、運営事務局を筑波事務所(学生会館内)に設け、大

学生会館ホール(メイン会場)と学生会館第2会議室(OB・OG交流会場)を用いて対面で実施しました。

・二日目(6/10)は、運営事務所を大塚事務所(茗溪会館)に設置し、筑波事務所(学生会館内)や卒業生、学生、大学関係者をつないでオンライン(Zoom)で実施しました。

・卒業生33名と参加実学生77名(延べ学生187名)が交流しました。また、一人の学生が話を聞いた卒業生は、平均4.3名とOB・OGキャリアカフェの開催目的である「様々な仕事や働き方を知る機会を作る」という幅広い交流が実現されました。

・学生の参加者満足度は、96.4%(n=29名)、卒業生の参加者満足度は、97.0%(n=33名)となり、これまで同様に学生、卒業生共に高い満足度を得ることができました。

●学生の感想

・業界・業種研究、会社説明に依らず、リアルなキャリアについて質問でき、面接では聞けないようなことも聞けた。

・OB・OGの方と少人

数でお話することができ、講演会等と比べ質問などがしやすい環境だった。
・今まで考えていなかった業界についても、知ることができるとなりました。

・自分の学類の専攻とは異なる分野でも、そこで何をしたいかが明確であ



対面式の面接練習

実施期間：2022年4月22日

現在(継続中)

●企画概要

- 学類1年ということもあり就職のこ
とや自分の興味についてあまりわか
っていないが、今回の参加を通
して、在学中の先輩たちが抱える悩
みやそれぞれの学類の特徴を聞き、
悩みの解決策や就職する上での大切
なことを学べた。

●卒業生の感想

- 卒業生の年齢や所属業種が多様化し
ていて、学生に色々な示唆や気づき
を与えられたのではないかと感じた。
● 自身のキャリアを振り返り、自身が
社会人になる際の考えを再確認でき
る良い機会になった。
- 一緒に参加した卒業生のみなさんと
情報交換できることや、それぞれの
仕事観に触れられることもこのイベ
ントの魅力だと感じた。
- 学生と親身に話す時間、空間を作れ
ており、イベントの目的を達成でき
たと感じた。
- 具体性と一般性、短期と長期を考え
ながら助言するのは大変だった。卒
業生二人制は、助言の客観化のため
によかった。
- ファシリテータの方がとても上手に
回していただき、やりやすかったし、
勉強になった。
- 外国人留学生達の悩みが少しでも改
善できる時間と場になったと感じた。
(注：外国人留学生OGより)

用し、実際の面接会場を模擬したり
アルな対面距離を確保して面接練習
を実施しました。これはコロナ感染
対策でもあり、マスク着用、手指消
毒、室内換気などその他の感染対策
にも十分に留意しました。練習日当
日に、「発熱のためキャンセル」とい
う連絡が時々入り、引き続き緊張感
を持って対応する必要性を感じてい
ます。

コロナ禍における採用面接はオンラ
インが中心でしたが、昨年から最終面
接は対面式で実施するなどハイブリッ
ト方式を採用する企業・団体が増えて
きていました。一方、学生生活では、
授業をはじめとして長くオンライン環
境が中心で進められており、対面での
対応機会が少ないのが現実でした。そ
こで、キャンパス内で対面の面接練習
ができる場を増やす目的で昨年度より
実施しています。

主催：一般社団法人 茗溪会 茗溪・筑
波産業人倶楽部運営委員会
協力：筑波大学 ヒューマンエンパワ
ーメント推進局

参加対象学生：対面式の面接（企業・
団体、公務員、教員、大学院進
学など）を控えている筑波大学
の全学生、大学院生。

対応者（面接官役）：茗溪会キャリアア
ドバイザー（国家資格キャリア
コンサルタントの有資格者）
所要時間：40分
会場：学生会館内会議室（利用できな
い場合は、ヒューマンエンパワ
ーメント推進局会議室を借用）

●特に私が留意したこと

- 学生が気軽に利用できるよう大学会
館内の会議室をメイン会場としまし
た。利用の都度、広めの会議室を借

● NHKから取材の申込があり、5月
30日に取材対応をしました。通常は、
1対1の個別対応ですが、NHK側
から「複数の学生へのインタビュー
もとりたい」との要望があり、ヒュ
ーマンエンパワーメント推進局の協
力を得て、対面での面接練習を希望
する5名の学生を集め、一人ずつ練
習を実施しました。参加学生は、「他
の人の面接の様子も見ることで
できて非常に参考になった」と
感想を述べていました。

- 取材内容は、6月1日付けのN
HK NEWS WEBにて配信
され、その中で「筑波大学では、
コロナ禍で大学生活を過ごして
きた学生から対面での面接が不
安だという声が寄せられていた
ということ、同窓会が大学に
呼びかけて対面での面接の練習
を行っています。」と映像とと
もにその内容が紹介されました。

●今回の結果

- 昨年度は36名の学生に個別に対
応しました。今年度は、大学側
で対面での支援対応を徐々に再



NHKの取材風景

開したこともあり、ここまで（8月
末現在）の利用者は19名に留まっ
ています。用途として、前半は企業・
団体向け、後半は公務員（国家、地
方）向けが中心でした。

- 対応者（面接官役）は、現在20名（私
を含む）が登録している茗溪会キャ
リアドバイザーとしましたが、短
期間での時間調整の必要性やコロナ
感染対策の観点から、昨年と同様に
筑波事務所にいる私一人での対応と
なりました。
- 今年も昨年に引き続き、「面接本番
は落ち着いた対応ができ、無事合格
できました！」などの嬉しい報告な
どをたくさんいただきました。

今後も学生の近いところで、状況に
応じた各種の支援活動を実施してい
きたいと思えます。

第5回教職2次試験対策研修会

教職2次試験対策研修会は、関東1都4県の教職受験を希望する学生・既卒生を主な対象にしております。それぞれの教員採用試験の日に合わせる必要がありました。それぞれの自治体の教員採用試験の願書受付、試験実施日・発表日、2次試験の内容は、次のようにばらばらの状態でした。

自治体	願書受付*	1次試験**/発表	2次試験/発表	2次試験の内容
神奈川県	4/19 5/11	7/9(日)①②③ 発表 7/27(木)	8/7(月)~18(金) 発表 9/28(木)	小論文*、模擬授業、個人面接 一部に実技検査 *1次試験で小論文作成
東京都	3/31 5/9	7/9(日)①②③ 発表 8/7(月)	8/18(金)~20(日) 小以外 8/26(土) 発表 9/29(金)	個人面接、一部に実技検査 *1次試験で小論文作成
千葉県市 千葉市	4/3 5/12	7/9(日)①~④ 発表 7月下旬~ 8月上旬	小学校 8/25~27 小以外 8/19~21 発表 10月中旬	個別面接、模擬授業、適性検査 一部に実技検査
埼玉県	4/3 5/9	7/9(日)①② 発表 7/28(金)	①小・中・養護・栄養 8/19(土)、9/3(日) ②高校・特別支援 8/6(日)、8/17~8/23 発表 9月下旬	①8/19 個人面接、小論文、適性検査 9/3 集団討論、実技試験 ②8/6 個人面接、小論文、適性検査、 集団討論 8/17~23 集団面接、実技試験
茨城県	4/7 4/28	6/25(日)①② 発表 7/19(水)	8/18(金)~8/20(日) 発表 9/29(金)	小論文、個人面接、集団討論 一部に実技検査 口述試験(英のみ)

*願書受付の日は電子申請の場合

**1次試験の内容 ①一般・教職教養、②専門教養、③小論文、④集団面接、⑤集団討論、⑥指導案

今年度からの変更点としては、試験対象者が3年生から受験可能となり、受験資格枠が広がったことです。今年度も1次試験は茨城県だけが他の自治体よりも2週間前倒しでの実施で、他の自治体と重複受験ができ、受験倍率にどのような影響が表れてくるのか、興味のあるところです。

また、研修会の運営で大いに変わった点として、主催が筑波大学となり、茗溪会が共催になったことが挙げられます。これにより、苦勞してきた会場確保に見通しが立ち、学生が参加しやすくなるよう会場を筑波大学としました。主催・共催の認可より、これまで大塚地区と筑波地区の2会場で実施してきた研修会を1つにまとめることができ、大学の施設を無償で使用できるようになり、大学との協力関係が大幅に改善されたことが挙げられます。

●募集について

今年度の教職2次試験対策研修会は次のような要項で募集しました。

●対象

教職を希望する在学生・卒業生・修了生（原則として教職1次試験合格者）
筑波大学生とは明記せず、他大学でも受講可能でしたが、今回は他大学からの応募はありませんでした。また関東1都4県に限らず、教職希望者なら誰でも参加できるよう、他県を表示して受け入れ枠を拡大しました。さらに、専門委員からの要望で、お盆休みに研修会を開催してほしい旨の要請がありました。直前の要望なので次年度の検討事項としました。

●場所と実施日

7月29日…筑波大学 5C棟4階 401~404、406
（神奈川県、埼玉県、他）
8月11日…筑波大学 5C棟4階 401~404、406
（千葉県、東京都、他）

●実施について

今年度も新型コロナウイルスが続いたためか、学生への広報が十分に行き渡らず、7月30日の開催を中止し、7月29日と8月11日の2日開催と日時を変更して、各5会場で実施しました。

7/29(土) 神奈川、埼玉、他	8/11(金) 東京、千葉、他
10:00 受付	10:00 受付
10:20 挨拶	10:20 挨拶
10:30 個人面接1(合同)	10:30 個人面接1
12:00 昼食休憩	12:00 昼食休憩
13:00 模擬授業(神奈川) 集団討論(埼玉)	13:00 模擬授業
15:00 個人面接2(神奈川) 小論文(埼玉)	15:00 個人面接2
16:30 諸注意・諸連絡	16:30 諸注意・諸連絡
17:00 解散	17:00 解散

●応募

合計…28 重複受験8(茨城と東京、茨城と千葉、他)、欠席4、入会5
所属…学類17、大学院11、卒業(修了)0、他大学0
校種…小学校3、中学校9、特支2、高校17
教科…国語2、社会4、数学4、理科8、英語2、小学3、保健体育2
受験地…茨城10、埼玉2、東京3、千葉3、神奈川県1

●実施日

応募時期…7月下旬16、8月上旬3
7月29日…16名(茨城10、神奈川1、埼玉2、他3)
8月11日…10名(東京3、千葉3、他4)

場所は筑波大学 5C棟4F(体芸エリア)404、406で、いずれもコロナ対策を十分にとり実施しました。

・内容

7月29日は植木先生(茨城県教職窓口)、佐藤先生(茨城県教職窓口)、春山先生(茗溪会理事、埼玉支部長)が、8月11日は高橋先生(茗溪会理事、東京支部長)、百瀬先生(茗溪会理事、千葉支部長)が実施されました。

個人面接

個人面接は3人から4人の小グループで、1名が受験者、講師の先生とその他の受講者が面接官となって進行了ました。1人5分程度で役割を交替し、全員が受験者をやったところで面接評価表を用いてフィードバックし、メンバーを替えて2セット実施しました。

質問事項は、講師の先生から質問項目について説明があり、準備された当該自治体の質問項目を参考にしながら行いました。フィードバックの後、受講生から様々な質問、例えば茨城県の特色を踏まえた模範的な回答についての話し合いなどがありました。

模擬授業

事前に書いて提出した学習指導案を用いて模擬授業を実施しました。授業者は学習指導案に沿って6分程度で模擬授業を行いました。授業者以外は生徒役となり、事前に配られた評価表に記入して、授業者に授業のよい所、改善する所などをアドバイスしました。最後に講師の先生が全体を講評して1人の模擬授業を終了して次の模擬授業に移りました。

集団討論

実施者のグループと評価者のグループに分かれ、2つの課題中の1つを選んで実施しました。実施者

のグループは選んだ課題について討論し、評価者は各人が前もって配布された評価表にコメントを書き入れて進行了ました。実施した後のフィードバックでは、課題への向き合い方、当事者として発言したか、何が見られているのかなどについて活発な意見交換がありました。

論文文

講師の先生による、小論文を作成するポイントの説明があり、与えられた課題について80から一千字の論作文を作成し、出来上がったものを事務局が講師の先生に送り、講師の先生がそれを添削して事務局に返送し、受講生が後日事務局に受取りに来るという面倒な手順で行いましたが、受講者からは「添削は本当に必要」の感想がありました。

(報告：茗溪会事務局 大根田 裕)





Peer Garden

茗溪アルバム 茗溪創基150年記念事業

茗溪150年の思い出を紡ぎませんか？

そびゆる数学像の裾を
ひそかに支えることの意味

●小松喬生(S24理1)のノート

三重県津市で米軍の無差別爆撃が始まったのは、東京下町大空襲から2日後、3月12日であった。以降、7月28日深夜まで断続的に続く。被害は少なくとも死者二五〇〇人、全損家屋一万戸、罹災者一万六千人にのぼる。

小松喬生の家族が罹災したのは7月24日の市中心部への空襲で、死者二〇〇名にのぼる。母親と三人の妹は直撃弾を受けて爆死した。喬生本人は勤労動員先の日光にいた。父からの計報は、宇都宮師団司令部に留め置かれ、小松は母と妹たちの死を終戦間際まで知らずにいた。

その後、小松は、病に倒れた父を伯母に預け、東京で、「土曜、日曜は日雇い人夫をし、残りの日は数学の学徒として」(註1)過ごす決意をする。

護国寺多宝塔前に小松喬生が立っている。彼は、その写真の中に「going my way」とペンで書き込んでいた。

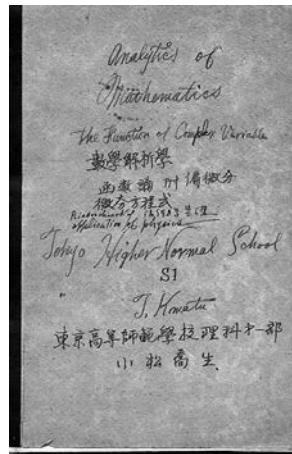
家族を失った青年は、孤独の中で「我が道」の探求へと一歩を踏み出そうとしていた。まだ二十歳前の若者である。

小松より二年後輩の鈴木等(S26理四)は花巻から上京し、「灯かりを求めて終電まで山手線の中で」(註2)勉学に

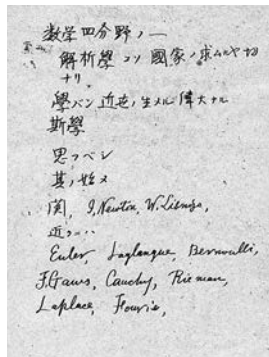
励んだ。

当時の高師生は、「新しい教育の先兵たらんと意気強く、新教育を主導していくのはわれわれだとの自負に燃えて」(註3)学問に挺身したにちがいない。

小ぶり(A5)のノートがある。



高師に入学した小松は、数学への期待と意気込みを表紙裏に書き記している。



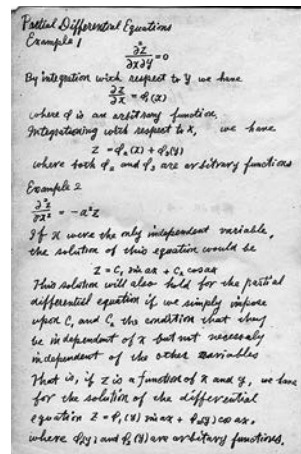
数学四分野の一
解析学こそ国家の求めるや
切なり 学ばん近世の生める
偉大なる斯学。
思うべし其の始め
関、I. Newton, W. Libnitz
近くは
Euler, Lagrange, Bernoulli,
F. Gauss, Cauchy, Riemann
Laplace, Fourier

註1 学芸大学附属世田谷中学校会報誌『緑友』下書き

註2 「追悼のつどい」における故人の奥様の談話

註3 『写真集 東京教育大学百年』145頁

ノートは、「数学解析学 函数論附
偏微分 積分方程式」で、第一頁目か
ら英語の筆記体で記されていた。



ノート裏に、昭和20年4月1日とある。終戦の年、授業が再開されたのは、10月以降である。下方に鉛筆で、「高師一年で上京遠しするときなり 22・12・22」と記されていた。上京〓勉学がままならず、これは自学自習ノートかもしれない。食と知に飢えた時代であった。

東京高師への進学は、三重県立津中学校の校長に促されてのことだった。

「：校長から呼ばれ、《君は私の母校(東京高等師範)を受けてみる気はないか》と訊ねられました。大分、抵抗したのですが、結局は校長の命令に従うことになりました」(前掲)とある。

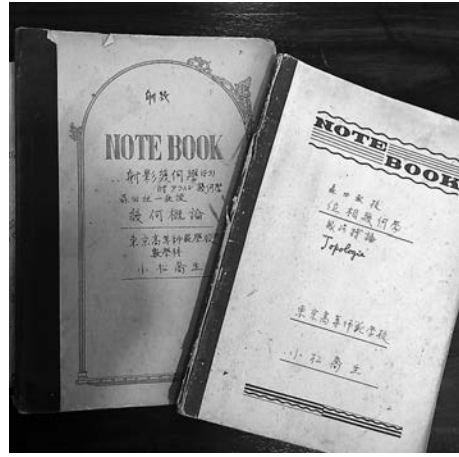
「量子力学や相対性理論が中学時代からの憧れでしたから、勿論微分幾何学を専攻し、関数解析のヒルベルト空間論にも通じようと思いました」と、数学への果てぬ夢が記されていたが、同時に、「一週間に一日だけの食事であ

とは水だけという生活に次第に気力が失せていきました」（前掲）という呻吟も記されていた。

そびゆる数学像の裾を
ひそかに支えることの意味

後年、小松は恩師と共著で学習参考書を出版することとなるが、初めて携わる高揚感と使命感を、右の言葉に託し、初版の表紙裏に認めたように思える。

大判のノートである。

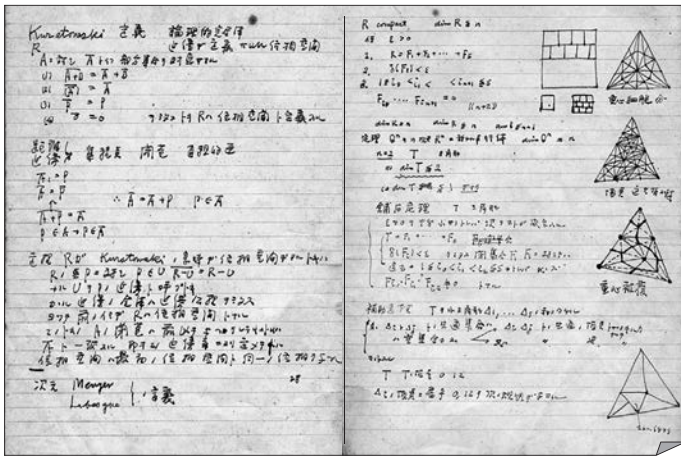


「数学解析学 函数論 附偏微分 微分方程式」、「射影、幾何学 附アフィン幾何学」（幾何概論）「位相幾何学」（幾何特論）の3冊で、綺麗で几帳面な文字が丹念に書き込まれている。

いずれも森田紀一（1915-1995）による講義の受講ノートである。森田は、当時三〇歳代の若き数学者であった。

森田は後に、代数学においては森田双対性や、森田同値の概念を導入、一般位相空間論においては正規空間の研究、次元論、Shape理論を展開するが、この新進気鋭の数学者の息吹を直接に感じ取り、その興奮をノートに記していた。

位相幾何学（幾何特論 Topology）のノートの一部（52～53頁）を紹介する。



ノートは、「第一章 集合」から始まり、「第二章 距離空間」に続く。

Euclid Space、Hilbert Space、距離空間、点列の収斂、写像、連続写像、位相写像、連結可分、compact 完備、分離・公理へと続き、そして、次元を経て、位相空間に至る。当該部分は、「定義 論理的完全体」に始まり、近傍が定義される位相空間として講義が開されたようである。



科目	講義題目	単位数	修得期間
数学	位相幾何学	2	昭和23年前期
数学	複素論	2	昭和23年前期
数学	群論	2	昭和23年前期
数学	位相幾何学	2	昭和23年前期
数学	位相幾何学	2	昭和23年前期
数学	位相幾何学	2	昭和23年前期
数学	位相幾何学	2	昭和23年前期
数学	位相幾何学	2	昭和23年前期
数学	位相幾何学	2	昭和23年前期
数学	位相幾何学	2	昭和23年前期

学修簿が残っている。理科一部（数学科）4年次のものである。「教職教養・一般教養」と「専門教養」に分か

れている。教職教養等は、教育概論。近代教育、教育哲学など9単位である。専門教養は位相幾何、積分論など11単位で、併せて20単位となる。卒業年次にしては履修科目数が多いような気がするが、当時は当たり前だったのかもしれない。次回も、小松喬生とその時代を綴ろうと思う。資料はある。

思い出の品々の寄贈（お願い）

茗溪創基150年記念事業

「茗溪創基150年記念事業」への参加のあり方として、「思い出の品々」を寄贈していただく企画を実施しています。

- ご寄贈いただく「思い出の品々」について
 - 「思い出の品々」につきましては、その内容の指定や限定はございません。
 - ご提供頂く場合、「簡単な説明」等を添えていただければ幸いです。
- 送り先
 - 電子資料は、メールにて (peer@meikei.or.jp) までお送りください。
 - 郵送先は、「茗溪会大塚事務所」宛てに願います。

〒112-0012 東京都文京区大塚1-5-23 茗溪会館内（電話 03-3941-0136）

年会費と 学生支援



「学び場さくら塾」の活動風景

つくばスタイル特派員 ゆうママ Blo(2013/06/14)より
<https://tsukuba-style.jp/blog/2013/06/3519.html>

●支援事業と顕彰事業

学生活動に対する茗溪会の事業は、支援事業と顕彰事業に分けることができる。

そして、その事業を企画・実施する組織が、組織委員会と大学・つくば地域支援委員会、そして、筑波事務所で

ある。筑波事務所は学生会館にあり、大学と連携・協力しながら事業に当たる「前線基地」いってもよい。所長の野崎芳恵(H12筑日E)は在学時、筑波大学応援団(現筑波大学応援部WINS)に所属していた。

事業は5月から本格的に始まる。

5月 学生活動支援団体及び個人の募集
 6月 教職試験対策講座
 OB・OGキャリアカフェ

7月 学生活動支援事業の選考委員会
 学生活動助成目録の贈呈式

8月 課外活動団体等への助成金交付式
 教職二次試験対策講座

10月 教職講座の開始
 OB・OGキャリアカフェ

12月 茗溪会賞候補者を推薦依頼
 ・大学院修了者の顕彰

2月 芸術部門卒業研究の顕彰
 教職試験対策講座

3月 茗溪会賞選考委員会
 茗溪会賞の贈呈

*卒業式で各専攻長等により授与

その他、毎月第2水曜日の夜、キャリアに関する「ぶっちゃけ相談会」がオンライン開催されている。

●学生活動助成金授与式

「この度は茗溪会学生活動支援事業助成団体に選んでいただきありがとうございます。ございます。」

7月26日、「学び場さくら塾」の代表岩澤裕貴君(人間学群心理学類3年)からメールがあった。

その前日、7月25日(火)に、学生生活助成に係る目録贈呈式と助成金授与式があった。井口理事長をはじめ茗溪会役員と事業採択団体・個人あわせて13名の学生、そして、本間副学長をはじめとする大学教職員が参列した。



前列左から、廣田理事(組織委員長)、鷹巣学生生活課長、加賀学生生活支援室長、本間副学長、井口理事長、阿江副理事長、矢野常務理事、新井理事(大学・つくば地域支援委員長)

記念撮影後、岩澤君と言葉を交わした。彼は、14代目の代表ということである。

「さくら塾は2010年5月に設立されました。最初はT・A・C Tによる企画でしたが、2012年4月より筑波大学公認の一般学生団体になりました。…ありがたいことに茗溪会をはじめとして多くの方のご支援、ご協力もあり現在まで活動を続けることができました。」

岩澤君は、このように紹介しているが、公認翌年の6月14日、つくばスタイル派員による取材記事が「つくばスタイルブログ」に掲載されていた。以下、紹介する。

《子どもたちのためになることを一つでも多くしていこう》との理念のもと、さくら塾では成績を上げることを第一の目的にしていません。もちろん結果として成績が上がることは喜ばしいのですが、そこに至るまでの過程を学ぶ場であり成長をしていく場であるとのこと：

子どもたちにとっては身近な将来像である大学生のリアルな姿、教えのあるさくら塾。

「成績を上げなくてはならない」という義務感に捕らわれず、将来に向けてどうするべきかではなくどうしていいかを一緒に考えて伝えてくれる地域のお兄さん、お姉さんである学生講師は心強く大きい存在でしょうね。

この取材記事から10年以上を経た今、岩澤君は、以下のように活動の詳細を紹介し、感謝の言葉で結んでいる。

「現在、さくら塾は週3回つくば市内の小・中学生及び高校生を対象に指導を行っています。毎週火曜日は春日交流センター、毎週金曜日は桜宮アパート集会場、毎週土曜日は台坪ふるさとコミュニティセンターで活動をしています。普段の活動以外にも近年はコロナウィルスの影響で行えませんでした、自然と触れ合って学習するために、夏合宿を行ったり、学校で勉強していることを体験から学んでもらうために理科実験教室を行ったりもしています。：多くの人からの支援・協力あつてはじめてできる活動だと考えていますので、今後も遠くから見守っていただけると嬉しく思います。」

採択団体・個人の覧は、下表にある。今回は、12団体と個人、例年に比べて少ない。前号で懸念した通り、3年間の空白の中で、先輩からの伝達がうまく行かなかった団体が多くあったと思われる。

助成金額は、二万三千円から十五万円と幅がある。各団体が要望した金額をもとに選考委員会で検討した結果である。

なかでも話題になったのは、「学び場さくら塾」で、要望は2万円であったが、結局、学生の要望通りとした。ただし、阿江選考委員長の提案による原則に照らして、該当他団体と同様、15%増とした。

「筑波の学生はまじめで正直だから」という感嘆と溜息が選考委員の中に流れた。



令和5年度 茗溪会学生生活動支援事業採択団体・個人一覧

団体・個人名	代表	活動概要	助成金額
筑波大学つくば鳥人間の会	水田遼太郎	人力飛行機の製作及び2023年第45回鳥人間コンテスト選手権大会への出場	150,000
筑波大学体育会女子ラクロス部	廣瀬 穂子	第35回関東学生ラクロスリーグ戦参加事業	100,000
個人(バドミントン部所属)	栗原あかり	モンゴル国際ショナルチャレンジ2023(バドミントン競技)への参加	100,000
バドミントン部	吉田 翔哉	バドミントンを通じた国際交流	85,000
筑波大学医学ヨット部	荒若由圭里	セール(帆)の購入	85,000
つくばろぼっとサークル	水谷 圭	ロボット製作及びロボットコンテストへの参加	150,000
HS Cat	牧原 慎吾	筑波大学学生宿舍周辺に生息する猫の養育・管理	90,000
学び場さくら塾	岩澤 裕貴	活動のための運営費確保	23,000
日本マラウイ学生団体	小川 萌望	渡航活動	150,000
Vietnamese Students Association at University of Tsukuba (VSAUT)	Nguyen Ngoc Lan Chi	つくばベトナム子供クラブ及びベトナム人留学生の学術交流会	100,000
筑波大学 CIRCO DE RANA	竹内 康陽	競技フットサル	90,000
筑波大学学園祭実行委員会	鈴木 暁満	筑波大学の学園祭である雙峰祭の実施	100,000
つくばりサイタルシリーズ実行委員会	大脇 実紗	第14回つくばりサイタルシリーズ「読響プラス」	150,000
日韓みらいファクトリーアワード実行委員会	寶積 應公	令和5年度日韓みらいファクトリーアワード事業	100,000

マルチメディアルームで行われた「令和5年度 茗溪会学生生活動支援事業目録贈呈式及び助成金決定通知書授与式」



2019年(8/9)、コロナ禍以前は、式後に代表学生との懇親会がもたれ、楽しいひと時を過ごすことができた。

● 顕彰事業―茗溪会賞

茗溪会賞は、大学院修了者の学習成果等と芸術部門の卒業(修了)制作を対象としている。

12月に各専攻長に推薦依頼を出すことから事業が始まる。2月中には各専攻から推薦者が選出され、2月下旬に選考委員会が開かれ受賞者が確定する。ここ数年は、選考委員会が開かれて後に、受賞者と選考委員、そして専攻長等を交えての懇親会の開催を企画したが、コロナ禍の中で一度も開かれることはなかった。

受賞者は、学位授与式で各専攻長等から賞の記と記念品が授与される。令和4年度の受賞者(大学院生の部)は36名で、以下に一覧を表示した。

茗溪会賞には、大学院部門のほかに、芸術部門がある。

芸術専門学群からは、長井春雅から『生命の種』建築デザイン)、山形彩月(『生彩』日本画)、そして、芸術学学位プログラムから夏陸嘉(『日曜日食日』ビジュアルデザイン)が選考された。



令和4年度 茗溪会賞(大学院修了者)受賞者

研究科	研究群	専攻・プログラム	課程	氏名	活動の名称	
1	①	② 国際日本研究学位pro	博士後期課程	飯田 朋子	日本語教育学分野の博士後期課程での顕著な成果	
2		③ 法学学位pro	博士前期課程	廣瀬 千晃	立退料の算定に関する問題の顕著な学修成果	
3		③ 経営学学位pro	博士前期課程	佐々木 舞香	令和3年度データ解析コンペティションJIMS合同部会優勝	
4		— 法曹専攻	専門職学位課程	木村 光利	法曹資格取得に向けた法曹専攻での顕著な学修成果	
5	生命地球科学研究群	山岳科学学位pro	博士前期課程	神藤 友宏	国内山岳域に広く分布する外来魚ブラウントラウトの管理についての社会啓蒙活動	
6		生物資源科学学位pro	博士前期課程	ARKAR MINN	農業機械分野の顕著な学修成果・日本高校及び小学校への貢献・文化交流としての支援活動等	
7			博士前期課程	人見 健矢	微生物の増殖動態に関する研究への貢献	
8			博士前期課程	川島 花雪	微生物間相互作用についての顕著な研究成果	
9			博士前期課程	橋詰 崇雅	細胞培養の培地開発における顕著な学修成果	
10			博士前期課程	大木 隼太	高等学校生の研究室訪問における研究紹介ならびに実験指導	
11		(博士前期課程)生物学学位pro	博士前期課程	渡邊 瑛	発生生物学・内分泌学分野の顕著な学修成果	
12		サービス工学学位pro	博士前期課程	川辺 怜	高大連携活動など地方活性化への貢献	
13		社会学学位pro	博士前期課程	大平 航己	地域の伝統神事を残し、活用していくための社会貢献活動	
14			博士前期課程	板橋 昂汰	交通ネットワーク理論分野の顕著な学修成果	
15	理工情報生命学術院	リスク・レジリエンス工学学位pro	博士前期課程	中川 権人	東京オリパラ2020輸送チーム物語「オリンピックを運べ」構築への貢献	
16		構造エネルギー工学学位pro	博士前期課程	才田 大聖	機械学習によるインフラ構造物の保有性能評価に関する研究	
17		情報理工学位pro	博士前期課程	雨坂 宇宙	学術会議WISS2022が行った公開配信での研究発表、及びその研究成果のメディア掲載	
18		知能機能システム学位pro	博士前期課程	吉川 優依	小学生および高校生に対する教育支援活動	
19			博士前期課程	幡野 陸	図書紹介ロボットを使用した教育現場における顕著な社会貢献活動	
20		数理物質科学研究群	数学学位pro	博士前期課程	譚 熙川	Tsukuba Workshop for Young Mathematicians 2023
21			応用理工学学位pro 物性・分子工学サブpro	博士前期課程	市川 真衣	理科教育活動への貢献
22					服部 亮佑	高校生及び留学生への教育的支援活動並びに学外研究施設利用による研究活動
23			応用理工学学位pro 物性・分子工学サブpro	博士後期課程	米原 卓哉	小中高高校生への理科教育実験活動
24			化学学位pro	博士前期課程	萩谷 健太	修士論文における分析化学分野の顕著な学修成果
25	人間総合科学研究群	教育学学位pro 国際教育サブpro	博士前期課程	五十嵐 真結	外国にルーツをもつ生徒への日本語学習支援活動	
26		教育学学位pro 次世代学校教育創成サブpro	博士前期課程	安部 拓輝	高校フィールド探究部における地域探究プログラムへの貢献	
27		体育科学学位pro	博士前期課程	村富 浩太郎	スポーツ科学分野の顕著な学修成果	
28		体育科学学位pro	博士後期課程	桑水 隆多	体育・スポーツ科学分野の顕著な研究成果	
29		情報科学学位pro	博士前期課程	稲田 和巳	社会活動も含め、作品制作などの優れた成果	
30		カウンセリング学位pro	博士前期課程	宮原 契子	プロボノとしてのこどもホスピスの設立や社会への周知への貢献	
31		カウンセリング科学学位pro	博士後期課程	平野 智子	訪問看護・在宅医療に関する研究の遂行と成果の社会的還元	
32		看護科学学位pro	博士前期課程	宮崎 星	コロナ禍での保健所保健師業務の逼迫状況の解明と防疫システム体制整備への提言に関する研究活動	
33		世界遺産学学位pro	博士前期課程	金田 郁也	石見銀山地域の小学校、高校における世界遺産学習の実施	
34		④ 歴史・人類学専攻	一貫制博士課程	荒井 啓汰	ポストプロセス考古学的視点にもとづく古墳時代研究分野への顕著な貢献	
35	— 障害科学専攻	博士後期課程	井口 亜希子	聴覚障害者のための合理的配慮(手話通訳その他)に関する活動		
36	⑤ ー ヒューマン・ケア科学専攻	3年制博士課程	鈴木 貴明	アジア後発開発途上国ラオスにおいて交通事故から住民の命を守る救命救急活動支援		
37	グローバル教育院(一貫制博士課程) エンパワーメント情報学pro	Lucas Rebelo Dal'Bello		人間情報学分野への貢献		

①人文社会ビジネス科学学術院 ②人文社会科学研究群 ③ビジネス科学研究群 ④人文社会科学研究科 ⑤人間総合科学研究科

●茗溪会賞(芸術部門)

仏山輝美教授(H5筑院美)から茗溪会賞受賞作品の一覧(2006-2021)を送付して頂いたのは、昨年春のことであった。毎年春、茗溪会賞として、芸術専攻生の優秀作品を賞上げる事業が続いていた。作品は芸術棟に保管されている。

一覧は、保管場所、専攻分類、作家名、作品名、制作年、技法形・作品仕様(材料・構造・色彩等)、寸法(高さ・幅・奥行)・数量・附属品、取得区分(茗溪会賞)、作品画像という形式で、丁寧に整理されていた。専攻分類は、構成・ビジュアルデザイン、情報デザイン、洋画、日本画、書、工芸、彫塑、彫刻、版画など多種多彩で、48作品にのぼる。



川村さやか『北の文様』
(2013、彫塑、210×170×70)

昨年、茗溪創基150年記念式典が挙行された。茗溪会館全館を「茗溪画廊」とし、これまでの受賞作品を公開展示して、参加者にご覧いただけないかと考えた。

江田理事長(当時)は、「展示は難しいと思うよ」とおっしゃられていた。一覧を見て、その意味が理解できた。

左の作品群は受賞作品の一部である。いずれも力作で大規模である。茗溪会館に運び込む以前に、展示スペースの確保が難しく思われた。式典時の「茗溪画廊」は断念せざるを得なかった。



- 左：高橋智紀『古今和歌集巻第十二』書 (2009年、26×474)
- 上左：笹田るり『呼応する記憶』洋画 (2014年、227×363)
- 上右：清水総二『つくば俯瞰図』洋画 (2012年、194×324)
- 右：福田健二『霖雨』日本画 (2011年、181×227)

●茗溪画廊

「大学・つくば地域支援委員会」には、3つの委員会（部会）がある。

学生活動支援事業選考委員会

顕彰選考委員会

そして、筑波事務所運営部会である。

一昨年8月に、「茗溪会学生生活動支援事業の取止めについて」（左資料）を、学生団体宛てに出した。その三か月後に、筑波事務所運営部会が開かれた。

「茗溪会では、大学や学生への支援をおこなっているが、コロナ禍で学生との交流の機会が減り、学生の意見を取り入れた活動が困難になっている。学生との交流は、効果的で有意義な学生支援につながる重要な機会であり、今後も積極的に交流の機会を持ちたい。」

新井達郎（S56 筑博化、筑波大学名誉教授）委員長が開催の趣旨を説明した。

令和3年8月18日

全学学類・専門学群代表者会議議長 殿
体育会執行委員会委員長 殿
文化系サークル連合会運営委員長 殿
芸術系サークル連合会運営委員長 殿

一般社団法人 茗溪会
(印 有 館)

茗溪会学生支援活動事業の今年度取止めについて

いつもお世話になっております。
茗溪会では、毎年、茗溪会学生支援活動事業として、学生の皆さんが課外の活動で取り組んでいるイベントや講座等に対し支援を行ってまいりました。しかしながら、コロナウィルス感染拡大により、様々な制約を受けながら活動を行う学生の皆さんに対して、支援の公平性、安全性の担保など、様々な点から検討した結果、昨年に引き続き、今年度の前記の支援事業は行わないことと致しました。

学生の皆さんは、筑波大学の指導のもと、十分な感染対策を行い、配座の上、活動されていることと思いますが、今後も感染拡大防止に努めながら、実り多い活動ができますよう、心よりお祈り申し上げます。

以上

大嶋建一（同専門委員、名誉教授の会長）、與語靖洋（同専門委員、第二代会長）と、事務局長、事務局、そして、笠嶋梨緒（全代会）、菅原由乃（全代会）、鶴田佐季（文サ連）の学生が参加して、一時間程の会合もあった。コロナ禍の中、長時間をさけて会食抜きの意見交換であったが、活発な意見が出された。

その中で、「茗溪画廊」の話題が出た。芸術系の学生であった鶴田佐季は関心を示し、数人の仲間を連れて茗溪会館を訪れたこともあったが、コロナ禍の中でやり取りが疎遠となり、それきりになった。

二年が過ぎた今年の夏、卒業年次を迎えていた鶴田からメールが届いた。

「茗溪画廊計画を任せるのにまたとない人物」として、松田公慶（筑物2年）を紹介してきた。彼は、学内ベンチャー「合同会社 タテ×ヨコ」を立ち上げ、アート販売プロジェクト「Blue Painting」で、芸術専攻の学生など筑波大学生の作品を広く紹介している。学生起業家仲間も多い。以上のような情報を提供してくれた。

8月22日（火）、鶴田と松田が茗溪会館を訪れた。会館内を一通り案内した後、茗溪会館連絡会に参加してもらった。

茗溪会館連絡会とは、会館テナントの「株式会社」「光芸社」「STUDIO D」、そして地域の方々にも参加して

いただき、茗溪会館の利活用について話し合う会合で、昨年からは毎月第2火曜日に開催している。話題の中から、筑波大学卒業生を中心とした混声合唱団の定期演奏会、バレエと音楽の共演など多彩な企画が挙げられている。また、5階「桐の葉」にコーヒーを用意しワンコインで自由に団欒して頂くアイデアも試行中である。



茗溪会館連絡会の会合風景
5階ラウンジ「桐の葉」にて

会館連絡会の中に、「茗溪画廊」を立ち上げようとする学生が加わった。仲間や先輩、卒業生にと輪が広がるだろう。

ひよっとすると、連絡会の中で面白い化学反応が起きるかもしれない。受賞作品が、筑波大学の倉庫から這い出して茗溪会館の回廊に鎮座する日が来るかもしれない。



小谷恵子『記憶』
(2016年、クラフト、80×120×70)

光化学と色

筑波大学名誉教授 新井 達郎

はじめに

筑波大学教授在職中および特命教授として教育社会連携推進室で勤務していた時、大学生、大学院生との研究のほかに、時折、高等学校を中心とした模擬授業、出前授業等で化学の授業を行った。その時の一部の概要を紹介したい。私の専門は、化学で、特に光化学であり、分子や分子集合体、高分子などの光機能性、新規反応性、機構などについて、新規分子や樹枝状高分子（デンドリマーと呼ばれる）の合成を行い、それらの反応性や過渡的中间体の直接観測などを通して研究してきた。ここでは、それに関連して、高校生への啓発のために行った内容について以下で紹介する。

光と電子と色

これまで高校生を中心に模擬授業で行った内容、例えば、ものを見るときに体でどんなことが起こるのかについて、関係する物質、仕組み、機構等を中心に述べる。特に必要なのは、光であり、また、光を吸収して応答する物質であり、細かくいうとその中にある電子の性質である。光と電子について簡単に触れておく。光は、波のように伝わり、波長でその特徴が記述され、質量がないため、波として理解されるが、光電効果から粒子の性質も持つことが示された（波動性と粒子性の2面

性）。電子は、極めて小さいが、質量を持つため、粒子である。しかし、電子線のような波の性質も有するため、電子も2面性（粒子であり、波である）がある。光をエネルギー源として物質の性質、特性が発現することは、このような、2面性を持った、光と分子中の電子との相互作用が初期過程である。光エネルギーを分子が吸収するのにかかる時間は、 10^{-15} 秒（一兆分の一秒）程度である。分子が光を吸収するという

ことは、光エネルギーにより分子中の電子のエネルギー状態（電子状態）が変わり、各種の反応性、物性が変わることになる。光吸収にかかる時間は 10^{-15} 秒（一兆分の一秒）程度で分子の物性が変わることになる。この超光速の物性変化が高速な各種光機能性の発現に繋がる。

身近な現象

基本的な学問分野で、例えば化学、物理学、生物学、医学等と光の関連で、光化学、光物理学、光生物学、光医学等、様々な境界分野が進展している。身近なことから話を始めたい。色を感じるためには必要なことがいくつかある。一つは、光である。我々の身の回りには、太陽の光や照明の光など、いろいろな光があり、これは、空間を伝わっていく「波」の一種である。光は、波のような性質を持つものの総称として、電磁波の一種であり波長で特徴づけられる。

この光の波長域の電磁波を放射する放射体である「光源」が必要である。太陽を光源とするとその光は、約280 nm

（ 280×10^9 m）以下の波長の光はオゾン層に吸収されるため地上には届かないため、地上では、280 nm以上の波長の光を考えることになる。

その中で、化学に関係するものは、紫外線、可視光線、赤外線である。紫外線は、一般に、波長400 nm以下、可視光線は、波長400 nm（この他に様々な線があり例えば、380 nm（780 nm）、赤外線は、波長700 nm以上として分類される。

紫外線や可視光線と分子の相互作用として、これらの光のエネルギーが分子に吸収される時、分子の中の電子の状態に変化が起こり、分子の性質が変化する。光が分子の中の電子の性質を変えるとどういうことか。分子は、原子からなっている。電子は、原子を糊付けするようにして分子を形成する。分子の構造、性質を変化させるためには、電子の状態を変化させる必要がある。光を使うとそのエネルギーを吸収させることにより、これが可能になることが出来る。分子の構造と光の吸収には相関があり、適切な分子設計により、必要な光エネルギーを吸収させることが可能になる。光のエネルギーが分子に吸収されると電子の状態が変化し、例えば、原子同士を結合させる性質を持つていた電子が、結合を開裂させる性質を帯びて、分子が分解反応を起こしたり、二重結合を単結合に変化させたりして、性質を変えうる。

身の周りでは、紫外線、可視光線のエネルギーにより、化学変化や電子の移動が起こり、記録、記憶、情報伝達、医療、生命現象、エネルギー問題の解決などと関連する。以下にいくつか紹介する。

介する。

視覚（超高速な光化学反応が始まる）

目でものを見るとき、目の中の網膜にある桿体細胞と錐体細胞にある色素たんぱく質が重要な役割を果たす。平兼盛の句（拾遺集）に、『しのぶれど色に出でにけり わが恋は ものや思ふと 人の問ふまで』があるように、色はいつも身近にある。

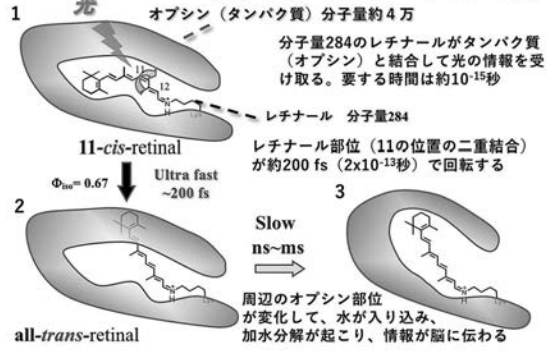
色は、太陽光や蛍光灯などの室内光にある、いわゆる白色光（色々な色の光を含むと白色光になる。光の3原色は、赤、緑、青で、3原色を適切に混ぜると白色に、割合を変えると色々な色ができる）があつて初めて我々が目で見ている風景が現れる。

目でものを認識するとき目の中に光が入ってくるのが重要である。真つ暗闇では、何も見えない。光の情報を受け取り、薄暗い中でもものを白黒で認識するのに役立つ桿体細胞と色を見分けるのに役立つ錐体細胞がある。

視細胞には錐体（すいたい）細胞と桿体（かんだい）細胞の2種類がある。錐体細胞は、明るい場所では色を認識することができるが、暗闇ではそれはたつきが低下してしまう。逆に、桿体細胞は色を区別できないが、わずかな光でも感知できるため、暗い所で主にはたらいっている。

(1) 桿体細胞には、ロドプシンと呼ばれる分子量約4万の色素タンパク質があり、これは、分子量284のレチナール（レチナール分子の原子の位置で11番目の炭素の位置の二重結合がシス型である11-cis-retinal）とタンパ

視覚：目の中で起こる光反応
(ロドプシン (オプシン+レチナール))



(2) このロドプシンは可視光の領域に広い光の吸収域を持ち、その中心波長は500nm付近にある。可視光線をロドプシンが吸収すると、レチナール部位は、シス体からトランス体への異性化を効率よく起こす。

(3) 光エネルギーの吸収は約一千兆分の一秒で終わる。ロドプシンの中の11-cis-retinal部位が光エネルギーを受けてエネルギーの高い励起状態(通常の状態は基底状態で、光エネルギーを吸収して電子の状態が変わった、電子励起状態のこと)になると分子の電子の状態が変わり、二重結合であった場所が単結合になり、回転しやすくなり180度回転して、二重結合に関するcis型からtrans型へ

異性化を起こす。これに要する時間は約200fs(200フェムト秒)。ただし、1fs(1フェムト秒)≡10⁻¹⁵秒(一千兆分の一秒)であるから200fs≡200×10⁻¹⁵秒≡2×10⁻¹³秒で変化に要する時間はこれほど超高速である。上の図の1から2への変化。

(4) 2では11とナンバーをつけたレチナール部位のシス型構造が、トランス型構造に変化しており、レチナール部位が周りのタンパク質(オプシン)の中にめり込んだように書いてある。実際は、周りのタンパク質は、柔らかいのとレチナール部位も歪んだような構造が取れるので、2の構造は、歪んだ形のものである。周りのタンパク質は分子量が大きいので(約4万)、中のレチナール部位が変化している間には、タンパク質部位はほとんど変化しない。タンパク質部位は1ns(一ナノ秒)から1ms(一ミリ秒)程度かけてゆっくり動いて、安定な状態になる。上の図の2から3への変化。

(5) まとめ…ものを見る過程には図にあるような色素タンパク質が光を吸収して、構造が変化することが初期過程(最初に起こる過程)である。それには、200fs≡200×10⁻¹⁵秒≡2×10⁻¹³秒しかかからない。その後、化学変化(構造変化)が起こり、それに伴う変化が脳に伝わり、目でものを認識することにつながる。

黄疸とビリルビンと光の関係
(新生児黄疸の光療法について)

ビリルビンはヘムの分解生成物であ

る。ヘムは4つのピロール環が連結したポルフィリン環と呼ばれる大きな環になっている。ビリルビンは黄色から橙色をした固形物(粉状)で目に見える光(可視光)を吸収する。このビリルビンという物質は、4つのピロール環を有する開環した構造をしている。ビリルビンは、光を照射すると、二重結合が異性化を起こす。この性質を利用して、光を照射することにより、新生児黄疸を軽減させることができるため、病院などで、黄疸の新生児に光を照射して、症状を軽減させることが行われている。光を照射して生成したビリルビンの異性体は、光を照射する前のビリルビンより、水に溶けやすくなり、体外に排泄される。

通常は、ビリルビンは肝臓で水に溶けるように変化して、体外に排泄されるが、新生児は、肝臓の働きが十分でなかったりすることがあり、黄疸になることがある。上記の性質により、青色の光を照射すると水に解けないビリルビンが水に溶けるビリルビンに変化する。症状が軽い場合は、日光を赤ん坊に照射するだけでも十分である。

蛍光と色
(高濃度では赤褐色、希薄溶液では黄緑色に見える色素のなぜ)

ウラニンの市販品は、赤褐色の粉体で、アルコールや水に可溶である。ウラニンの水溶液は、明るい室内で、濃厚な溶液では、赤褐色であり、極めて希薄な溶液では、黄緑色に見える。黄緑色は蛍光の色である。このように、ウラニンは溶液の濃度で、見かけの色

が異なる。濃いと、白色光のうちの紫外部から530nm位までの波長の色が吸収されて、残りの色が見えるので、530nm以上の色の混じりで、赤褐色に見える。希薄溶液では、白色光の下での通常の色は認められないが、少量の光の吸収でも可能な、蛍光発光が観測され、その光が、吸収スペクトルの少し長波長側に観測されるため、黄緑色に見える。このように、濃厚溶液の場合は、白色光の下の吸収に伴う色が観測され、希薄溶液では、ほとんど色はついていないが、発光が観測され、従って、濃度により、色が異なって見える。

終わりに

我々の身の回りで、化学に関係しないものはないと言っても過言ではない。その中で、光と化学(生物学、医学)が関連することの一端を紹介したが、蛍光の発光、コンサートで使用されていた発光体、がんの光治療、病理等で用いられる蛍光イメージング、植物の形態形成の情報に関連するフィトクローム、高密度情報の記録、太陽エネルギーの有効利用など多くの分野と関連する。色や発光は、視覚に訴えるため、演示実験と共に、化学関連分野の紹介ができるため、これらの現象を説明しながら化学を中心に関連分野の啓発に役立ち、興味を持ってもらえることが多かつたように思われる。生活の中にもっと化学が根付いて行くことを願っている。

元素講話いばれ話

第二話：元素に關与した日本人

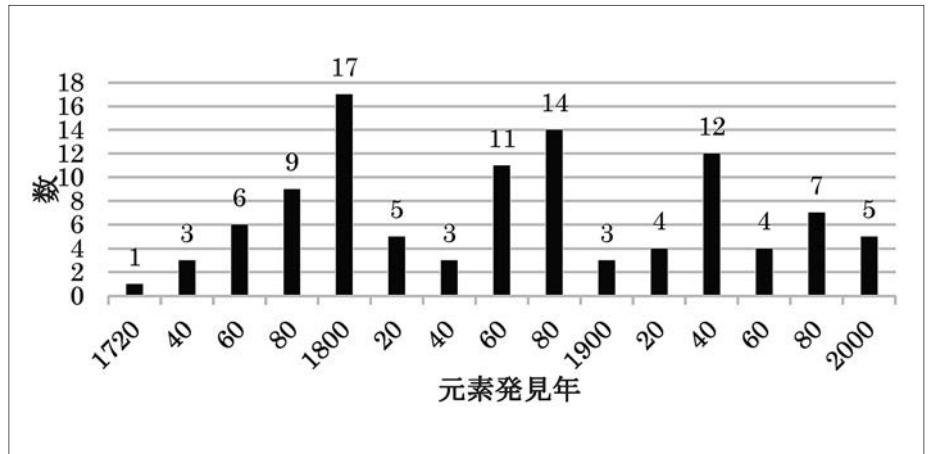
大嶋建一

元素は紀元前から1719年まではたったの14種類のみが発見であったが、18世紀の初頭からの近代科学の発展により、少しずつ元素が発見され、現在までに118の元素の発見に至った。以下の図では、1720年以降の20年ごとの発見数を示す。この長い発見の歴史の中で元素に關与した日本人が現れたのは約200年前からであり、その後、2名の先生が新元素発見に關与した。

(1) 蘭学者で日本の化学の父 宇田川

榕菴…彼は江戸時代後半の1837年から1847年にわたり、日本で初めて近代化学を紹介した自然科学書「舎密開宗」(せいみかいそう)を21巻刊行した。その第1巻ではelementsを元素と表記し、それぞれの元素をイロハ順に51種類を記載した。その表示にはカタカナに加えて、酸素、水素、窒素、炭素、白金のような2文字漢字があり、日本版周期表に寄与した。内篇第1巻は筑波大学中央図書館にて直接閲覧できる。

ところで、元素周期表は英語表記に加えて、一文字漢字表記(簡体字)の中国版がある。その漢字表示では、「きがまえ」を含む場合常温で気体の元素、



「いしへん」では常温で固体・非金属の元素、「さんずい」では常温で液体の元素、「かねへん」では金属の元素を表現されていることは興味深い。ぜひ漢字de周期表と検索して眺めてほしい。現在の日本版元素周期表にはカタカナ、1文字漢字、2文字漢字、カタカナ+1文字漢字、で表記されているので、中国版からの影響もあったことは明らかである。

かである。

(参考)「日本の科学の父 宇田川榕菴のライフワーク」伊地智昭亘、宇月原貴光著 函館工業高等専門学校紀要 第51巻 1-10、2016年10月15日受理)

(2) 新元素「ニッポニウム」発見者 小

川正孝…彼は1904年に英国ロンドン大学に留学して、新鉱物中の新元素を探す研究に取り組んだ。その結果、新元素を発見して、指導教授から「ニッポニウム」と命名を奨められた。帰国後の1908年に英国化学雑誌Chemical Newsに原子量が約100の43番目の元素「ニッポニウム Np」の発見を報告し、翌年ローリングの周期表には載っている。しかし、ニッポニウムの確認の続報が無く、幻の元素となり、周期表から消えた。小川はその後、東北帝国大学理科大学・学長、総長を務めたのちも、学内での実験室でニッポニウムの研究に従事していた。彼の死後の1937年、43番目の元素はイタリアの研究者により、放射性の高いテクネチウム(Tc)であることが判明した。小川の発見したニッポニウムはその後、X線分析法により1周期下の73番目の新元素であり、レニウムであることが判明した。小川の実験では原子価の評価に誤りがあり、原子量の過小評価に至ったが、もし、正しい原子価を入れて原子量を再評価すればニッポ

ニウムはレニウムとなる。誠に残念であった。

(参考)「小川正孝のニッポニウム研究について」吉原賢二著 化学と工業 Vol. 66-7, 538, July, 2013)

(追記) 東北大学片平キャンパスには先生の業績を称えた「小川記念園」があり、私は在学中時々出向きました。

(3) 113番目の元素「ニホニウム」の発見

者 森田浩介達…小川の研究後から約100年後、理化学研究所仁科加速器研究センターの森田浩介を中心に、超重元素発見の研究が開始された。彼らは加速器を用いて光速度の10%まで加速した原子番号30の亜鉛イオンを標的である原子番号83のビスマスに衝突させ、113番目の元素の合成を試みた。9年間で約4兆回衝突させ、3回の合成に成功した。その寿命は0.002秒であるが、確かに新元素であることは元素の崩壊過程から実証された。その結果、2015年12月にはIUPACから命名権が与えられ、翌年の12月には113番目の元素として「ニホニウムNh」と命名された。彼らは今後、元素周期表8周期の119番、120番目の元素の発見に向けての実験を進めている。

(参考)「113ニホニウム発見に挑み続けた研究者たち」(非売品) 発行人…国立研究法人理化学研究所、2017年3月8日 第2版第一刷発行)

加藤 純一	加藤 澤男	勝水 敬哲	小野 瀨朝子	小黒 美智子	奥山 訓近	山口 正行	尾木 聖二	岡本 高宏	岡田 一郎	岡崎 一雄	岡出 美則	岡武志	太田 初美	遠藤 優枝	江田 昌佑	占部 和章	梅林 薫	内田 珠代	上松 豊	上原 一明	岩村 雅朗	井本 正子	今井 重昭	犬丸 茂樹	板本 正夫	井田 洋一	石渡 和美	石田 幸栄	石川 博之	飯田 邦彦	有谷 聡子	荒木 雅信	荒川 博	鮎川 庄司	阿部 聖仁	浅見 高明	青山 和義	青木 瑞穂	相沢 利一	相澤 鎮夫				
加藤 信哉	加藤 牧菜	金子 麻理子	金子 十美代	神島 達郎	亀井 浩明	川本 太郎	菅野 等	菊池 一隆	岸本 弘子	北原 信夫	日下部 公昭	國吉 哲郎	小林 千洋	五味 謙隆	五味 勲二	近藤 聡子	近藤 良享	齋藤 興哉	齋藤 隆	齋藤 光政	坂入 浩	坂田 信久	坂田 八千代	笹岡 英資	佐々木 敏恵	佐々木 甫	佐藤 悦郎	佐藤 千春	佐藤 豊実	佐藤 成明	佐藤 理香	鮫島 香	猿橋 薫	山海 嘉之	三條 和男	重藤 辰治	茂野 隆一	篠田 邦彦	柴田 淳一	柴田 淳一	洪沢 仁司			
島田 和生	白田 佳子	菅原 葉子	杉江 つま	杉下 俊子	杉谷 武彦	杉山 潔	鈴木 英全	鈴木 泰全	鈴木 基史	隅木 信利	関口 莊次	関崎 哲	染谷 益朗	高井 貞昭	高岡 正幸	高野 昌司	高野 昌司	高野 昌司	高橋 砂織	高橋 審也	高橋 誠	武井 治郎	竹内 雅也	竹内 雅也	竹信 武	竹鼻 志乃	田瀬 則雄	田瀬 則雄	館野 紀久平	田中 晃	田淵 英樹	田村 正明	千輝 克忠	茶城 啓二	中条 政紀	都竹 淳也	手打 明敏	寺尾 壽幸	土井原 千穂	鳥谷 宗弘	内藤 章弘	仲 映子	仲 映子	仲 映子
中島 光廣	永嶋 正嗣	永嶋 實治	中西 祺周	中村 穎司	中村 穎司	中村 伸夫	中村 美枝子	中山 貞夫	中山 芳典	永山 久徳	夏目 幸一郎	奈良 昭男	新津 武登	西川 俊彦	西沢 敏	沼倉 友晴	根立 俊樹	根本 治	野村 良和	長谷部 良輔	濱崎 一夫	濱田 浩嗣	林 則治	林 則治	林 美嗣	原 正	原 護	原 美子	原田 隆康	原田 満彦	比良 皓一	平川 信夫	平田 恒彦	平塚 義夫	平山 昇	蛭田 成一	福嶋 綾子	福田 省三	藤家 昭和	藤原 弘美	藤原 一宏	古瀬 範雄		
古戸 完	星 勉	堀田 延明	巻山 圭一	増原 光彦	松崎 弘志	松澤 一弘	松澤 宏明	松丸 祐司	松本 久志	三島 次郎	三島 次郎	溝口 繁美	三田 紀代美	光田 惠一	三田 登志江	嶺井 明子	宮川 俊平	宮坂 博昭	宮崎 素明	宮澤 忠治	宮下 憲	三輪 一義	村上 健治	村上 健治	村田 正文	目々澤 美智子	諸澄 信孝	矢島 奈津枝	安ヶ平 浩	矢野 哲	山口 松太郎	山本 敬三	山本 浩貴	吉尾 健太郎	吉田 文子	吉田 由治	吉野 孝一	吉本 恵子	渡部 徹	渡辺 雅仁	(五十音順 敬称略)			

『茗溪フェロー』 ご協力をお願い

茗溪会が新法人としてさらに発展・進化していくために、東京教育大学等前身諸学校から筑波大学にわたる多様な世代を結び、教育界だけでなく広く実業界に活躍する卒業生との地域・職域をこえた連携を強化することを目的として、会費完納会員を対象として創設された「茗溪フェロー」は、これまでに多数の方からのご協力をいただきました。誠にありがとうございます。

完納会員の皆さまには、35年間にわたり茗溪会へのご支援をいただき、これまで本会を支えていただきましたことは、誠に感謝に堪えません。

茗溪会は筑波大学や在學生、さらに新しい卒業生に、一層の支援をすることは勿論ですが、本会の老・壮・青の力を集めて大きく発展することを期しています。そのためにも、皆さまには本年度もご協力をお願い申し上げます。

「茗溪フェロー」の募集要項

既に会費を完納した会員の皆さまに呼びかけて「茗溪フェロー」として、皆さまからの寄付をしていただき、今後の茗溪会の運営に寄与していただくことを目的といたします。

- 1 寄付金 1口 2,000円/年間
- 2 支払い方法 口数の選択 1口以上
郵便局窓口またはATMから送金してください。
会員番号は必ず記入してください。
(お送りした封筒の宛名に記載してある8桁の番号)
クレジットカードでのお支払いもできます。詳細は事務局までお問い合わせください。
- 3 季刊誌『茗溪』誌上にお名前を掲載いたします。
- 4 納入口数に応じて、記念品を贈呈しております。

医薬・関連業界交流会

2月13日第3回、

7月に第4回を開催

田辺三菱製薬 荒川 健司

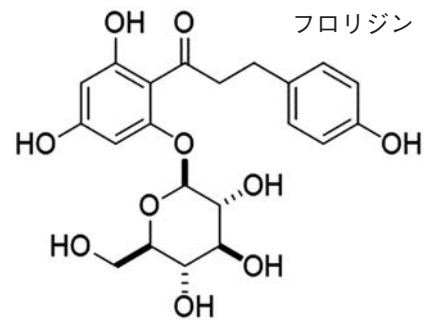
(83年農林学類卒、
85年修士課程環境科学卒)

医薬関係の同窓会有志による交流会の第3回目が本年2月11日に(当日の様子を撮影した写真は、茗溪春号に掲載済み)、そして第4回目が7月2日に、いずれも茗溪会事務局のある大塚事業所(東京都文京区)で開催されました。茗溪正月号で予告頂いていた通り、第3回の交流会では、私が2型糖尿病治療薬の創薬の体験談をお話させて頂きました。本稿では、その内容をご紹介します。加えて、第4回の交流会の概略につきましても、併せてご報告致します。

●第3回交流会：創薬の体験談 「SGLT2(Sodium glucose co-transporter:2)ナトリウム・グルコース共輸送体2阻害薬の創製」

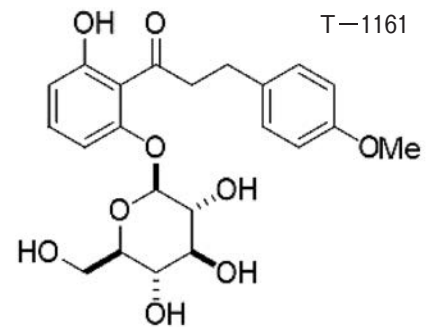
私は大学院終了後に旧田辺製薬に入社し、研究所に配属となり、長い間、主に糖尿病治療薬の効果を確かめる研究に従事してきました。

入社5年目に当たる90年に、私達の研究グループでは、世界に先駆けて、血糖値が上昇して尿中に糖が出る病気になる糖尿病を、積極的に尿中に糖を出す薬で治療しよう、という逆転の発想に基づく研究を開始しました。起



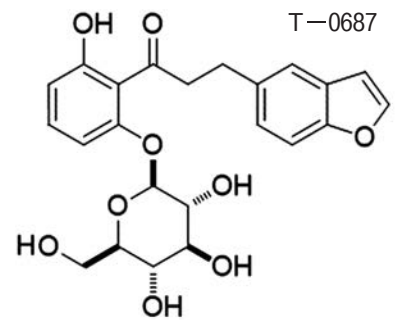
点となったのは、天然の配糖体のフロリジンという物質です。フロリジンが尿糖を誘発することは、19世紀から知られていました。しかし、フロリジンは芳香環とグルコースがO-グルコシド結合で繋がっている構造をしており、O-グルコシド結合は消化管内で容易に切断されるために経口吸収性は極めて低く、尿糖を誘発する為には静脈内投与や皮下投与などの非経口的な投与が必要でした。ところが、全く別の目的で合成されたフロリジン誘導体(化学構造を少し変えた化合物)6化合物を思い切ってみて試してみたところ、そのうちの1化合物に弱いながらも経口活性、つまり経口投与で尿糖排泄を増やす作用があることを見付けました。もしこの一つの化合物T-1161の存在が無かったら、新しい概念の創薬への挑戦には踏み切れなかったと思います。

この時点では標的分子であるSGLT2(腎臓の尿細管に発現していて、糸球体で濾過されたグルコースの再吸



収の大部分を担っている分子)の存在は明らかになっておりませんでした。で、ひたすら動物に化合物を投与し、尿を集めて尿糖を増やす化合物を探索する、という地道な作業を続けました。最初に経口活性を見出したT-1161を大きく凌ぐ化合物に辿り着くまでに4年以上の歳月が掛かりましたが、高い活性を持つベンゾフラン誘導体T-0687を見付けることに成功。プロドラッグ化(投与後に体内で起こる代謝によって本来の薬効を示すように化学構造を変換)を経て、96年にその後臨床試験入りするT-1095の創製に漕ぎ着けました。

しかし、画期的な作用機序のこの薬に対して、「血糖値をただ下げれば良いというものではない」「尿糖が診断に使えるなくなり、臨床現場の混乱を招く」等、社内外から懐疑的な意見が数多く寄せられました。特に、当時は「フロリジンによる尿糖の増加≠腎毒性」というイメージが定着しており、安全性面への強い懸念も示されました。で

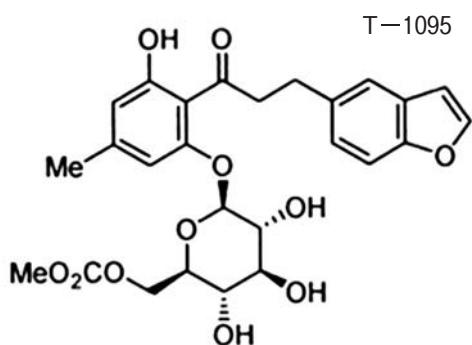


も、私達は諦めずに糖尿病モデル動物でT-1095を使って、データを出し続けました。尿糖排泄促進による血糖値の低下(糖毒性の解除)が、確かにインスリン抵抗性やインスリン分泌能の改善をもたらすこと、そして腎毒性を呈さないのみならず、糖尿病性腎症の進展を抑制すること等を明らかにし、それらを学会や論文で積極的に公表しました。

その結果、多くの海外大手製薬企業から共同開発のオファーが届き、その中から00年に米国ジョンソン&ジョンソン社との契約が成立。海外でT-1095の臨床試験が始まりました。T-1095の血糖低下作用は臨床試験でも確認することが出来ましたが、ヒトで血糖値を十分に下げられるには、想定していたよりもはるかに高い用量での投与が必要であることが判明しました。残念ながら、T-1095は代謝安定性が向上し、動物では経口活性の強い化合物に仕上がっていたものの、O-グルコシド結合が残っており、ヒトにおいては代謝安定性が十分には確保出

来なかった為でした。T-1095は、第二相試験で開発の中止が決まりました。03年のことです。

この頃、T-1095に興味を持った多くの競合他社が、SGLT2阻害薬の開発に参入していました。振出しに戻って後塵を拝することとなり、到底競争には勝てない、という否定的な意見が社内では大半を占めました。しかし、ヒトでも血糖値を低下させることは確かめられ、SGLT2阻害薬のコンセプト自体には間違いがないこと、そして絶対に克服すべきポイントは更なる代謝安定性の向上であるということ、これらを知っているのは自分たちだけであり、このアドバンテージを生かさない手はない、と社内を粘り強く説得しました。その結果、「1年で仕上げよ」という社命を受け、約30名の精鋭の研究者が投入された一大プロジェクトチームが発足しました。

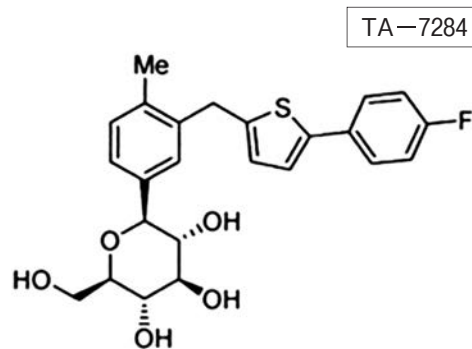


すなわちO-グルコシド誘導体には早々に見切りをつけ、代謝的により安定と思われたベンジルベンゼン型のC-グルコシド誘導体に絞って研究を進めました。この時点ではSGLT2という標的分子が分かっていたので、SGLT2過剰発現細胞を使って阻害活性のスクリーニングを迅速に行うと共に、ある程度高い活性を示した化合物については、早い段階から薬物動態学的検討や安全性に関する評価も並行して実施し、総合的な観点から化合物の最適化を進めました。そして、およそ11か月という短期間で、薬効、代謝的安定性、安全性の何れについても十分なプロファイルを有する開発候補品TA-7284 (canagliflozin)の創製を成し遂げました。

海外先行で行われたTA-7284の臨床試験は順調に進み、13年に米国と欧州で、そして14年に日本で承認され、新しい2型糖尿病治療薬として世に送り出すことに成功しました。そして、その「先駆的なコンセプト」や「安全性に対するハードルが高い米国で最初に承認を取得したこと」等、上市までの一連のプロセスが高く評価され、平成26年度日本薬学会「創薬科学賞」を受賞することが出来ました。

始めに合成したフロリジン誘導体6化合物の中に経口活性を見出したことをきっかけに、全く新しいタイプの糖尿病治療薬の創薬への挑戦を開始したものの、なかなか高い活性の化合物には巡り合えませんでした。ようやく最適化されたT-1095を創製したに

もかわならず、これまでにない作用機序の薬に対する漠然とした不安が障壁となつて、簡単には前へは進めませんでした。T-1095の臨床試験でPOC (Proof of Concept) は取得しましたが、開発中止に追い込まれました。このような数多くのピンチを乗り越えて、TA-7284は誕生しました。成功の鍵は、やはり最後まで諦めずに粘り強く研究を続けたこと、そして終盤ではSGLT2阻害薬のパイオニアとしての誇りと意地であった、と思っています。また、熱意を持った多くの優秀な研究者の参画なくして、この薬の誕生はありえませんでした。創薬研究において最も大事なのは、多様な専門性を持つポテンシャルの高い研究者が、安易に妥協することなく本気で取り組むことであり、今後、創薬の手法がより科学的・論理的に進化を遂げて、そこは変わらないものであると考えています。



●第4回交流会：パネルディスカッション

「医薬品がラボから患者様に届くまで」

96年社工学類卒の塚本格さん(現武田薬品工業)に司会進行役をお務め頂き、4名のパネリストからの話題提供を題材に、活発な意見交換が行われました。05年博士課程化学卒の高橋竜之さん(現中外製薬)から「研究」、10年修士課程生物環境科学卒の岡田真幸さん(現テルモ)から「安全性」、83年生物学類卒の高橋義三郎さん(現Meiji Seikaファルマ)から「製造」、91年修士課程理工学卒の野口道子さん(現帝人ヘルステア)から「流通」、それぞれのテーマで大変興味深いお話をさせて頂き、製薬企業のDX活用やAIを用いた創薬の最前線から、「薬価改定など医薬品業界の負のスパイラルに我々はどう立ち向かって行くか?」といった課題に至るまで、幅広いテーマでディスカッションが展開されました。およそ2時間という短い時間ではありましたが、参加者全員が大いに刺激を受けた会であったものと確信しております。

第5回の交流会は、統計解析業務に焦点を当てた内容で、近々に開催の予定です。本交流会に関心を持たれた方が居られましたら、是非左記連絡先にご一報下さい。

茗溪会事務局(大塚事務所)

TEL 03-3941-0136

E-mail: peer@meikei.or.jp

茗溪・東西南北

令和5年度神奈川茗溪会総会

令和5年7月22日(土) 横浜駅そばのホテル・ザ・ノットヨコハマにおきまして令和5年度神奈川茗溪会総会及び懇親会を執り行いました。長らく会場は中華街のローズホテルにお世話になって参りましたが、使用料が高騰したため、本会の未来に向けた積極的な予算施策を優先して考えることにし、思い切って変更いたしました。

コロナもまだまだ影響が残存している中でしたが、40名の出席を得ました。



中には、80代まで縁のなかった神奈川の地に終の棲家を得て初めて参加された先輩もおりました。一同大歓迎でした。

懇親会では佐々木千世美氏(S62筑修芸)の温もりのある司会で、愉しく盛り上がった会となりました。

茗溪の魂を伝える本部役員講演

各地を回られて茗溪の絆をエンカレッジされている矢野正人常務理事のミニ講演が、懇親会の中で時間を設けて行われました。氏は私たち茗溪に縁を得た者に対して、『玄海ブルース』をモチーフに茗溪の系譜を熱く語られました。時間の関係で未来への繋ぎまで及ばなかったのが残念でしたが、大げさに言えば私たちに茗溪のレーゾンドールの矜持を説いておられたように思えました。

初めて参加された50代の方は、そのお話から宣揚歌、恒例の大石進氏(S56筑体)のメールと続いた会の流れに、「茗溪であってよかった、誇りを想起した。今後も参加したい!」と興奮して感想を語っておられました。

新たな地平へ：新しい故郷の構築

先代大畑会長まで繋いできた櫛を受け、初めての筑波世代、加藤充洋会長(S56筑一社)がどう舵を切るか? 茗溪本部でも課題となっている筑波世代への舵きりが神奈川でも必須です。しかし現実的には今年度の参加者40名の多くは教職にあった先輩方です。ゆえに新会長は当面は第一義的には代々の



形の継承を方針として示しました。先輩方がお盆の行事のように安心して茗溪の会に集まるような雰囲気を持したいとの理由です。しかし同時に参加者の皆さんに対して、「教職の会」のイメージからの脱却を強く認識することも覚悟していただきました。

今年度の具体策ですが、予算設定において、次世代となるであろう「旧若手の会や」「産業人の会」をバックアップする補助金の設定を全会一致で決定いたしました。

今後もうこうした工夫を通じて筑波世代へソフトランディングを図り、筑波の地を第二の故郷とすべく神奈川茗溪会は歩を進めます。

福島県茗溪会総会・報告

2023年7月2日(日)に、J.R福島駅西口複合施設「コラッセ福島」3階の会議室を会場に、福島県茗溪会総会が開催されました。総会には県内各地から20名が集いました。

総会は、伊豆幸男会長(写真中央・S55筑一自然)より、本会を今後も益々盛会にしていきたいとのこと挨拶がありました。今年度は、茗溪会本部より、理事・組織委員長の廣田則夫様(S53筑一社会)に來賓として出席を賜りました。若年者の会員獲得のための様々な取り組みについてご教示いただき、本会を通じた人と人とのつながりが魅力あるものとなるよう広報していく大切さを感じさせていただきました。

総会後には、東北大学入試センター特任教授を務める末永仁先生(S57筑二農)より





「変革期の大学入試」と題してご講演を頂きました。本県の高校教員として現場で生徒と向き合ったご経験を踏まえ、東北大学入試センターにおいて大学入試に関わる研究をされ

ました。客観的資料に基づいた丁寧な現状分析は、高校の現場で働く私にとっては、今後の入試動向を見据える上で重要な視座を与えて下さったばかりでなく、筑波大学にも有為な若者を送り出したいという強い気持ちを持たせていただくきっかけになりました。

総会・講演会の終了後は、コラッセ福島の上階にあるZOOM（きいち）にて、懇親会が開催されました（写真左上・集合写真）。

会員相互の現況報告はもちろんのこと、筑波大学で過ごした学生時代の懐かしい思い出に花が咲き、大いに盛り上がりました。中には、次回は親子で参加を宣言される会員の方もいて、参加者一同より大きな拍手が沸き起こりました。最後は、全員で肩を組んでの「宣揚歌」で大団円を迎えました（写真下）。

私がこの会に参加させていただいたのは2回目でしたが、前回同様、今回も大変心温めるものでした。年齢こそ違えども、同じ筑波大学で青春時代を過ごした方々と気兼ねなくお話できる場というのは、家庭でも職場でもない大人の「サードプレイス」として、本当にありがたいと愉快なものだと思います。是非、これを機に足を運んで下さる会員がますます増えますことを心よりお待ち申し上げます。

（文責・福島県若溪会事務局・渡邊優輔H21筑修・教研）



「茗溪」1117号12、13頁 「教育における茗溪の伝承と創造」で誤りがありましたのでお詫びして訂正いたします

（前略）

● 松下村塾と郷中教育（P12 2段目）

私の若い頃の話ですが、国民学校で吉田松陰に傾倒していた山田先生という教頭（兼）先生に出会いました。毎朝一時間目はその先生に、松下村塾の教えを学び、大きな影響を受けました。

● 片や薩摩藩では郷中教育です。府立四條畷（~~西井蓮林~~）旧制中学校の担任は、西郷南洲に傾倒しておられた今井先生で、「敬天愛人」という言葉をこの頃に初めて知りました。：

● 松下村塾は個人の教育を中心とした個性教育と言えないでしょうか。片や郷中教育は子供から若人（~~兼~~）が集まった集団教育と言えるのではないのでしょうか。：

● 青春時代とラグビー（P12 3、4段目）

● 両親ともに教師でしたが、父が早く亡くなり、母に育てられ、家が関西だったこともあり京都大学に願書を出していました。しかし、恩師の丸岡先生が東京教育大学（~~兼~~）に願書を出してくれて、結局、最終的にそちらに入学することになりました。大学に入ってから先輩、同輩、後輩に恵まれ、その恩恵は大きかったです。：

● 銭湯は大塚坂上に行きました。あたり一面瓦礫でしたが現在の中央大学の（~~兼~~）向こうにお汁粉屋さんがありました。：

● 試合は、決勝で秋田工業に負けました。大西鉄之祐（~~助~~）さんは早稲田の名監督でしたが、その方にレフェリーをしてもらいました。：

● 石川忠雄先生（P13 1、2段目）

1996年中教審の改定で保健体育審議会に私は8年間関わっておりました。

● 最新の答申の時は慶応大学の塾長で東洋史の石川忠雄会長（~~兼~~）が、「青少年健全育成第4の領域の育成」についてお話しされたことが心に残っています。：

● 出したのは町村文部大臣。この方は、日比谷高校でラグビーをされていました。答申がまとまった時には、懇親会でラグビー関連の話をしました。

● そして、部活の問題が出てきますが、当時は私の認識としては、部活動は（~~兼~~）やりすぎると燃え尽き症候群になったり、膝・足首・腰のスポーツ障害をおい、故障者ばかりがスポーツ界に残るのではないかと思ったので、部活のやりすぎを是正したいと思っていました。：

● そして、私の願い（P13 4段目）

● 教育に対する情熱とか信念が必要なこととは言ってもありませんが、気持ちとか（~~兼~~）ではなく、強いというより（~~兼~~）（タフ）な心が必要です。普通に強いというよりも固くて弾力があり粘りや柔軟性もある強靱なタフな心です。そして情熱信念を持ち続けて（~~兼~~）（~~兼~~）強力なものにしていく硬くて弾力があり、また、粘りや柔軟性がある心が必要なのです。

（後略）

追悼録 (敬称略)

逝去会員氏名・卒年科・地域・
逝去年月日・続き柄・遺族氏名

石野 道男	24理四	神奈川	R5. 9.10	長男	石野 徹男	加藤 誠一	38教大体	埼玉	R4.12. 6	妻	加藤 和子
森 基要	24体	岐阜	R4. 8.17	甥	渡辺 美基	酒井 郁男	39院修化	神奈川	R5. 6.13	妻	酒井 直子
森 實	27文一	岡山	R4. 5.23	長男	森 淳	石井 武夫	39専攻	千葉	R5. 5.25	妻	石井 晴子
齋藤清一郎	35教大教	群馬	R5. 6.22	次女	田口 隆子	初瀬 弘平	40院修数	茨城	R5. 1. 7	妻	初瀬由紀子
鈴木 中	33教大体	神奈川	R5. 7.19	妻	鈴木 渥子	横田 英明	43教大経	静岡	R4.12.19	妻	横田ふみ子
武智 恒雄	33教大体	神奈川	R5. 4.13	長男	武智 秀和	後藤栄一郎	47院修数	福岡	R5. 6. 3	妻	後藤 令子
岡本 武文	37教大林	徳島	R5. 7.23	妻	岡本 真弓	横山 勝雄	47院博化	栃木	R5. 3.29	妻	横山喜代子
相良 哲朗	37教大体	佐賀	R5. 6. 2	妻	相良しずこ	森 俊男	50院修体	茨城	R5. 9.17	妻	森 厚子
荒川 博	38教大教	埼玉	R5. 5.25	妻	荒川 延江	細川 正徳	53筑一自	愛知	R4.12.10	妻	細川久美子
小野満禎子	38教大体	東京	R5. 8.19	弟	小野満敦夫	土屋 均	61筑一人文	埼玉	R5. 6.16	妻	土屋 一江

桐の葉のつどい 同期入学、または同好のみなさんの集まりを紹介したものです。



◆農林学類 3 期生会

と き 令和 5 年 7 月 31 日 (月)

と ころ 茗溪会館 嘉ノ雅茗溪館

農林学類 3 期生会が 4 年ぶりで開催された。総勢 119 人中住所判明者 74 人で、出席者は 16 人であった。コロナの影響で久しぶりの開催は、喜ばしいことで、出席者一同感極まったものになった。嘉ノ雅さんの料理は、前菜、魚、肉、デザートと申し分のないもので、最後は全員で写真を撮り中締めとなった。また、別れを惜しんで 11 人が一階の喫茶コーナーで談笑に時間を割いた。筑波大学 50 周年の話題も出て、筑波大学の発展や今後の再会を楽しみに長生きを誓うものであった。



◆令和 5 年度 駒場筑波農業土木同窓会 総会

と き 令和 5 年 7 月 8 日 (土) 15:00~

と ころ ホテルローズガーデン新宿

この同窓会は、東京教育大学農学部、筑波大学生物資源学類等の農業土木関係の卒業生で、会の趣旨に賛同していただいた方たちで構成しています。年に一度、総会及び懇親会を開催しておりますが、コロナ禍のため 4 年ぶりの開催となりました。本年度の総会は、25 名の会員が集い、楽しい総会となりました。

(同窓会事務局：持丸晴久)

筑波大学は今

筑波大学は、10月1日に創基151年、開学50周年を迎えました。

本学は、1872年、明治政府によって我が国で最初の官立高等教育機関として創立された師範学校を礎に、東京高等師範学校、東京文理科大学、東京教育大学を経て、1973年10月1日、筑波研究学園都市の中に、新構想大学として開学しました。2002年の図書館情報大学との統合から数えて21年でもあります。

今、筑波大学は大きなギアチェンジを始めています。これまでのモットーを表すIMAGINE THE FUTURE. つまり、開かれた未来を構想することを基盤に、Beyond the Borders. という考え方でその実現に挑戦し、DESIGN THE FUTURE. TOGETHER. つまり、社会とともに未来社会を創造することを宣言いたします。

本学は、前身となる東京教育大学までの優れたレガシーを、よき伝統を、



また開学以来50年間で培った力を活かしながら、望むべき未来に向けて、皆さまとともに進んでまいります。

「グローバルヴィレッジ夏祭り 2023」を開催

7月26日、グローバルヴィレッジの中庭を会場として、夏祭りを開催しました。本祭りは、グローバルヴィレッジ全棟の運用が開始した2018年から、入居する一般学生と留学生の交流推進及び留学生の日本文化・風習を体験することを目的として始まりましたが、2020年から2022年の3年間は、新型コロナウイルス感染症の影響で開催ができず、4年ぶりの開催となりました。

今年度は、グローバルヴィレッジの入居者と、短期留学・ショートステイハウス入居の短期留学生に加えて、ウクライナからの学生も参加し交流を深めました。

祭りでは、盆ライブを初めとした課外活動団体によるパフォーマンス、Ask Us Deskによるウチワ作成と浴衣の着装体験や、水ヨーヨー釣りなどの



縁日ゲーム、線香花火、綿あめ作り体験などが行われ、約300名の学生が、日本の伝統的な夏祭りの雰囲気を楽しみ満喫しました。

筑波大学ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」を開催

8月5日、6日、筑波大学ホームゲーム「TSUKUBA LIVE!」(競技:男ハンドボール、男女バスケットボール)を開催しました。

「TSUKUBA LIVE!」は、「大学スポーツの可能性を広げ、スポーツで交流と興奮、文化を創る」というビジョンのもと、筑波大学体育スポーツ局が独自に主催するホームゲームです。

学生、教職員のほか地域の人も訪れ、これまでのホームゲームで最多の延べ800人が中央体育館で観戦しました。



附属小学校・教育開発国際協力研究センターがインドネシア教育相等と授業研究会を実施

8月、教育開発国際協力研究センター(CRICED)と附属小学校は、東南アジア教育大臣機構と協働してインドネシア教育大学、インドネシア教育文化科学省、ジョグジャカルタ教員研修センターで、授業研究会を実施しました。

オンラインで教師・教育者が参加し各会場200名、YouTube上各サイト300名以上が視聴しました。

インドネシアでは、CRICEDと協働開発した算数教科書の新課程固定教科書として採用し、7月から完全実施(オンライン配信)しています。

今回の授業研究は、その活用法を共有する目的で、原著者である本学附属小学校算数部とCRICEDが関係機関と協働実施したものです。



茗溪学園だより

個人課題研究中間発表会

表題の発表会が9月26日、本校第1および第2体育館を会場に開催されました。今年度本校は3回目の「スーパーサイエンスハイスクール（SSH）」の指定を受けましたので、その成果発表も兼ねる会になりました。なお、第3期SSH研究開発課題は「VUCAとなる未来において、総合知をいかして活躍する『価値創造人材』の育成」です。過去2回のSSHの取り組みを超えるべく一丸となって進めています。個人課題研究は本校高校2年生の必修課題ですので、全員（IB課程の生徒を除く288名）が研究に取り組みます。そしてこの中間発表会は、公開発表会（今年度はSSH校など教育関係者のみ）として開催され、全員がポスター発表を行いました。生徒同士互いの発表を聞き、また、来場の先生方からの



聞き手は、高校2年生と来年度に向けてテーマ探しが始まった高校1年生

専門的な質問に答えることで、研究内容や手法を深めたり表現力や発表力を高める機会としていっているものです。

中学ラグビー部全国優勝

9月16～18日

に水戸市のケーズデンキスタジアムなどを会場に開催された「第14回全国中学生ラグビー大会」において、本校が初の単独優勝を果たしました（大会出場は10回目）。この大会での優勝は3回目ですが、過去2回は、決勝戦が台風のため中止となつて両校優勝、昨年の優勝はコロナ対策として2グループに分けた対戦方式のため優勝校は2校、というものでした。

中学校ラグビーは、近畿勢の強さが目立っていましたが、今大会では準決勝で京都代表を、決勝戦では大阪

代表を破つての優勝でした。さらに精進して力を伸ばしていつてほしいと思います。

高校軟式野球部全国大会出場

第68回全国高校軟式野球選手権大会に、本校軟式野球部が3回目の出場を果たしました。県で優勝し北関東地区で優勝しないとこの全国大会へは出場できないので、厳しい道のりなのですが、6年ぶりにその道を開きました。結果は、



2点差を守り切りノーサイド ©JRFU



大型選手の強烈な突進に2人でタックル

初戦で強豪の天理高校（この大会の準優勝校）と対戦し、精一杯戦いましたが及ばず、0対2で敗れてしまいました。し



つくば市長を表敬訪問し全国大会出場を報告する軟式野球部員

かし、久しぶりに全国大会の雰囲気味わい、来年に向けて後輩たちに大いに力をつけることのできた大会出場となりました。

全国高校生政策甲子園決勝大会進出

公益財団法人・日本青年会議所が主催する「第1回全国高校生政策甲子園」に応募した本校生徒の政策が、決勝大会進出となりました。この大会は、若者の政治への関心を高める機会を創出することを目的として企画されたものです。

全体では100組の応募があり、書類選考を通過したチームが国会議事堂で政策を演説し、本校高校2年3名のチームを含む3組のみが決勝に進みました。決勝は、自分達の政策をYouTubeでアピールし、それを視聴した人達がネット投票をして優勝者が決まります。本校生徒たちの政策は、「世代別選挙」と「採点式投票」を組み合わせた新しい選挙制度の提案でした。

部活動報告(試合結果など)

◎インターハイ(8月北海道開催)結果：バドミントン(男・女団体、男子ダブルス、男・女シングルス)、体操(女子団体、男子個人2名・女子個人)、水泳(女子個人)、テニス(男子団体)、以上の部活が出場し、体操男子個人で1名が決勝進出したが、他は予選で敗退した。

◎高校ラグビー部：全国7人制大会(7月菅平高原開催)第3位(準決勝で優勝校に17-20で惜敗)

◎高校バドミントン部：「JOCジュニアオリンピックカップ全日本ジュニアバドミントン選手権大会」(各県優勝者とジュニアナショナルメンバーのみが出場できる大会)女子ダブルス、男・女シングルスそれぞれ3回戦進出。「全国私学大会」男子団体14位、女子団体34位(48校出場中)

◎茨城県中体連総合成績：女子総合優勝(2年連続)、男子6位

◎中学テニス部：関東大会で男子ベスト8、女子3位となり、男女団体全国大会出場(8月香川県高松市開催)アベック出場は25年ぶり、男子2回戦、女子3回戦(ベスト16)

◎中学柔道部：全国大会(徳島県鳴門市開催)昨年に続く連続出場、上位入賞を狙うも1回戦で惜敗(昨年はベスト16)

◎中学体操部：関東大会・男子団体4位、女子個人上位進出も全国大会出場ならず

文化部の活動

◎吹奏楽部：第39回定期演奏会7月31日牛久市中央生涯学習センター文化ホール(来場者430名)

◎科学部化学班：つくば科学万博記念財団主催「エキスポサイエンスデー」参加(茗溪と並木中等の2校参加)。本校は防災をテーマに実験を行った。

予告

令和5年度 追悼のついで

令和5年11月3日(金・祝) 11時

茗溪会館

第2回 MKS会議

茗溪関西教育研究産業人会議

令和5年11月16日(木) 18時半

難波 道頓堀ホテル

東京茗溪会総会・講演会

令和5年11月25日(土) 13時半～17時半

茗溪会館

※詳細は同封のチラシ等を参照

茗溪・筑波産業人倶楽部

全国展開発表の会

令和5年12月9日(土) 12時～16時

茗溪会館

- ・講演・長瀬要石氏
- ・情報交換及び懇親の会

1都4県合同新年会

令和6年1月13日(土) 15時

茗溪会館

株式会社 阿部兄弟建築事務所
平成26年度東京ワークライフバランス認定企業

<http://abeoffice.co.jp>



〒101-0032

東京都千代田区岩本町1-3-9 高木ビル

代表取締役 **荒井 豊人**(昭和57筑基工)

TEL 03-3866-4181 FAX 03-3866-4120

広告募集



株式会社 十和観光

代表取締役社長 井坂 信洋

URL <http://www.juwa.com> E-mail travel@juwa.com
〒300-2451 茨城県つくばみらい市箕輪254
TEL 0297(52)1221 FAX 0297(52)1220

印刷・製本までトータルに対応

株式会社 **ケエスアイ**

本社 〒557-0063 大阪市西成区南津守7-15-16

TEL 06-6652-8000 FAX 06-6652-8894

集めるのは「知識」と「技術」
さまざまなモノや思想を“寄せ集め”
教育の世界が求めるウオントを形にする会社

PiCK & MiX

Keeping Up Innovation with Integrating
Art & Technology

株式会社ピックアンドミックス 代表取締役 松村直樹

<https://www.pickandmix.co.jp/>

スポーツ&起業家&企業人「つくばウェイ」
TSUKUBA WAY プロジェクト
～茗溪・筑波OB・OGの活躍を集約!!～

<http://tsukubaway.com/>

株式会社 KTAJ

代表取締役 藤田 文武 (体育専門学郡 2004年卒)

株式会社 **長谷工 コーポレーション**
HASENO

〒105-8507 東京都港区芝2丁目32番1号
電話 03(3456)4501

取締役副社長執行役員 植岡 祥之(昭57筑社工)

FXC
Future X Communications

FXC株式会社 <https://www.fxc.jp/>

当社は光通信機器やイーサネットスイッチ等のネットワーク機器を開発・製造し、各地の公立高校始め、官公庁、企業等に多数納入実績がございます。

創業者:代表取締役社長執行役員 谷輪 重之(93筑修経営)

筑波大学教員, 広島大学教員初のコラボレーション!

新・教職課程演習

全22巻

筑波大学人間系教授 清水美恵 監修
広島大学大学院教授 小山正孝

明治時代から我が国の教員養成をリードしてきた筑波大学教育学学位(大学院)プログラムと、
広島大学大学院人間社会科学研究所(旧大学院教育学研究科)の専任教員が編者として
初めて協力する画期的な演習シリーズ。我が国の教員養成の質向上を一段と図ります。

A5判・並製
定価:1,650円~2,640円(税込)



協同出版

〒101-0054 東京都千代田区神田錦町2-5
TEL.03-3295-1341 FAX.03-3233-0970 HP.<https://kyodo-s.jp>

「新・教職課程演習」全22巻

令和5年10月15日

令和6・7年度 代議員選挙公示

一般社団法人茗溪会 選挙管理委員会

定款では、代議員が法律上の社員となり社員総会の議決権をもつと定められており、代議員の選任は、全正会員からの立候補及び推薦による候補者を正会員の投票により選出することとなっております。代議員選挙規程にもとづき下記のとおり選挙を実施します。

記

1. 代議員定数 85人(平成5年3月31日現在の正会員数による。)

2. 立候補手続き(①立候補者)

- (1) 立候補者資格：正会員(最近2年間の会費納入者または完納者)
- (2) 立候補の条件：所属する地域組織等の3名以上の正会員の推薦
- (3) 手続き：「立候補届」(様式5-1)を所属する地域組織等の代表者に提出
- (4) 立候補メ切：11月6日

3. 推薦手続(②推薦候補者)

- (1) 被推薦者の資格：正会員
- (2) 推薦の条件：正会員3名以上の推薦
- (3) 手続き：「候補者推薦書」(様式5-2)を、所属する地域組織等の代表者に提出

4. 地域組織等でのとりまとめ

- (1) 地域組織等の代表は、候補者名簿(様式5-3)を選挙管理委員会へ提出
- (2) 提出期限(地域組織等から選管へ)：11月20日

5. 候補者名簿

季刊誌『茗溪』 正月号に同封、投票用紙を郵送。

ただし、候補者数が代議員定数以内の時は、無投票とし、候補者をもって当選とします。

6. 投票

正会員は投票用紙を選挙管理委員会宛に郵送。投票メ切：2月10日

7. 当選代議員告示

季刊誌『茗溪』春号及びホームページに代議員名簿を掲載

令和4年日本芸術院賞・恩賜賞
おめでと〜ございませす(追記・敬称略)

書「陸游詩」(令和三年第八回日展出品作)

牛窪 勲 43教大書 (埼玉)

令和5年春の叙勲
おめでと〜ございませす(追記・敬称略)

瑞宝小綬章

西澤 和平 49教大農 51院修農 (長野)

※本欄は、各地域からの調査報告により掲載しております。もし記載もれがある場合は、事務局までお知らせください。

表紙の言葉

(広報委員 鈴木一弘)

「年年歳歳花相似たり」と詠われますが、紅葉は時々刻々と姿を変え、撮影に適する紅葉のピークは数時間しかないと言われる場所もあります。錦秋の八幡平を訪れた際、立ち寄った大沼から去ろうとしたちょうどその時、一瞬風が止んでさざ波が消え、この風景が現れました。

「筑波大学新聞」10月号を同封します

春号に続き「筑波大学新聞」10月号を同封します。筑波大学の様子が詳しく掲載されておりますのでお読み下さい。

編集後記

新型コロナウイルス感染症が2類から5類への移行に伴い、対面での会合が活発化してきております。茗溪会でも地域総会が多く開催されており、事務局長、理事、事務所長が各地域を訪問させていただいております。

本号では、各地域総会の様子などもできるだけ掲載いたしました。

お願い

- ・正確な会員情報把握のために、住所、勤務先の変更はすぐにご連絡ください。
- ・年会費のお振込みは、早めをお願いいたします。

令和5年10月15日発行

発行 一般社団法人 茗溪会

茗溪会事務局・大塚事務所

112-0012 東京都文京区大塚一五二二三

TEL 〇三三三九四一〇一三六

FAX 〇三三三九四一七六七四

E-mail info@meikei.or.jp

URL http://www.meikei.or.jp

郵便振替記号番号 〇〇一五〇一四九七七

筑波事務所

305-8577 つくば市天王台一〇一

筑波大学・大学会館内

TEL 〇二九八五〇一〇四四

FAX 〇二九八五〇一〇四五

E-mail tsu3jimu@meikei.or.jp

印刷 東京都文京区関口一三九一〇

山浦印刷株式会社

筑波大学社会人大学院

FOR WORKING INDIVIDUALS

社会人のための夜間大学院

11.25 土曜
合同説明会、開催

終日開催

各教育組織のポスター展示

10:00～12:30

社会人大学院合同説明会

13:30～15:30

模擬授業 SDGs×社会人大学院

当日開講授業の見学

人文社会ビジネス科学学術院

- › 経営学学位プログラム
- › 法学学位プログラム
- › 法曹専攻
- › 国際経営プロフェッショナル専攻

人間総合科学学術院

- › カウンセリング学位プログラム
- › スポーツウエルネス学学位プログラム
- › リハビリテーション科学学位プログラム

特設Webサイトを
開設いたしました
詳細・最新情報は
QRコードから



筑波大学東京キャンパス

東京メトロ丸ノ内線・茗荷谷駅から徒歩3分

Q 筑波大学 東京キャンパス



開催予定 | 2024.3.16 Sat.

創基151年筑波大学開学50周年記念事業 東京キャンパス社会人大学院
ビジネスサイエンス系主催シンポジウム

サステナブルな社会変革に向けた社会人大学院の役割と展望



▲詳細はこちら

忙しいご子息・お嬢様に 必要なのは、誇りが持てる 出会いのフィールド。

キューピッドは、お一人おひとりへ
丁寧にご紹介する会員制クラブです。
個性・人柄を見極め、最適なお相手を選ぶマイスター。
10年、20年、30年…と幸せが続くご結婚カップル。
「勧めてくれてありがとう。」
お子様の感謝の言葉が待っている。
出会いのフィールドがここにあります。

キューピッドクラブ

検索

出会いと結婚の風景を見たいなら、
4,000通を超える結婚カップルメッセージでお確かめください。

キューピッドの 結婚

筑波大で出身の皆さまへ

ご入会の際、
キューピッド推薦のスタジオ写真
撮影料金(3万円相当)を
特典サービスいたします。

キューピッドクラブは慶應義塾大学OB間の親睦パーティから、1980年設立。

■ お気軽に資料をご請求ください。

☎ 0120-0333-82



■ 入会資格

結婚を誠実にお考えの独身の方

● 男性 25～45歳、定職におつきの方。 ● 女性 20～40歳

※ 入会に際して審査があります。

結婚に安心して向き合えるフィールド



Cupid Club

〒107-0062 東京都港区南青山1-1-1 新青山ビル東館10F 03-5843-1581 公式ホームページ www.cupid.co.jp

東京ビジネスホテル 茗溪会東京宿泊所

茗溪会会員割引料金 (税サ込)

シングルB (バス・トイレ別) ¥ 5,000~¥ 6,700
 シングルA (バス・トイレ付) ¥ 7,000~¥ 9,000
 ツイン (バス・トイレ付) ¥10,500~¥14,500
 朝食バイキング ¥ 1,200→¥ 880
 大浴場時間 : 6:30~9:00 17:00~01:00



東京都新宿区新宿6-3-2
 TEL 03 (3356) 4605
 FAX 03 (3356) 4606

地下鉄丸ノ内線 新宿御苑前駅 1番出口 }
 都営新宿線 新宿三丁目駅 C7出口 } より徒歩7分
 地下鉄副都心線 新宿三丁目駅 E2出口 }
 JR新宿駅より車5分



安全に、快適に、正確に

大曾根タクシー株式会社

代表取締役 塚本 育子

☆お迎え料金無料
 ☆カード利用 OK!
 ☆貸切バス事業者より
 安全性評価認定(★★★)されました



〒300-3261 茨城県つくば市花畑3丁目19-4

TEL 029-864-0301
 FAX 029-864-4727
 メールアドレス <http://www.taxi.e-tsukuba.jp>

フリーダイヤル 0120-000-302
 各営業所に通じます



「安心」「安全」「快適」な
 ITインフラ環境を最先端の技術で実現



- ・社内ネットワーク
- ・院内ネットワーク
- ・無線 LAN, Wi-Fi
- ・テレワーク, Web 会議
- ・セキュリティー



豊富な実績、高い技術力で、皆様に最適な
 ITソリューションをご提供いたします。

株式会社FYF

~ ITソリューションでより良い未来を ~

会社 HP <https://www.fyf-h.com>
 x (旧 Twitter) @FYF_INC

本社 〒277-0843 千葉県柏市明原 1-1-6
 TEL 04-7192-8927 FAX 04-7192-8929
 関西支店 〒537-0025 大阪府大阪市東成区中道 3-16-16 毎日東ビル 4F
 TEL 06-4306-4019 FAX 06-4306-4023
 九州支店 〒812-0029 福岡県福岡市古門戸町 2-4 KS コモンビル 5F
 TEL 092-406-4443 FAX 092-406-4453
 東北支店 〒980-0803 宮城県仙台市青葉区国分町 1-6-18 東北王子不動産ビル 5F
 TEL 022-226-7290 FAX 022-226-7291
 北海道支店 〒060-0062 北海道札幌市中央区南二条西 1 丁目 1-2
 21 きのしたビル 9F
 TEL 011-206-7482 FAX 011-206-7483



【会社 HP】

広告を募集しています。

事務局までご相談ください。

一般社団法人 茗溪会

〒112-0012

東京都文京区大塚 1 丁目 5 番 23 号

電話 03(3941)0136

FAX 03(3941)7674

eメール info@meikei.or.jp

ホームページ <http://www.meikei.or.jp>

Meikei-
Making
the
Difference



Meikei
High School

茗溪学園中学校高等学校

* 茗溪学園は 1979 年に茗溪会の百周年記念事業で生まれた学校です

- ◆ 寮のある学校です
海外からの外国人留学生も生活しています
- ◆ 国際バカロレア IBDP 課程認定校です
- ◆ 「知識」「体験」「考え方」
——とことん学び身につけます
- ◆ 部活動が盛んな文武両道の学校です
- ◆ 多くの海外姉妹校があり、交流が盛んな学校です
- ◆ 文部科学省 SSH（3期目）認定校です

2024 年度茗溪学園入試日程

中学校：
12月16日(土)推薦(専願)入試、国際生B方式
1月7日(日)一般4科入試、国際生AおよびB方式
1月20日(土)一般総合入試
高校：
11月18日(土)国際生特別選抜、IB生特別選抜(オンライン)
1月9日(火)推薦入試(オンライン面接)
1月20日(土)一般入試、IB入試
詳細は本学園ホームページでご確認ください。
お問い合わせは、下記のe-mailをご利用ください。



アクセス つくばエクスプレスTX つくば駅A3A4出口 バスターミナル4番のりば「ひたち野うしく行」バス、
「環境研究所」下車徒歩5分 または JRひたち野うしく駅 東口バス乗り場「つくばセンター行」
e-mail kouhou@meikei.ac.jp (見学等) entry@meikei.ac.jp (入試等)